

第4回鷺沼駅周辺再編整備公共機能検討会議

日時：平成30年11月5日(月)

13:30から

場所：第3庁舎18階 大会議室

1 鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の検討状況について

2 その他

(配布資料)

出席者名簿

資料1 鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の検討状況(第2回まちづくりフォーラム)

資料2 意見交換会まとめ結果資料

資料3 区民意識アンケート報告書

資料4 中間報告フォーラム意見票に対する市の考え方

今後のスケジュール

【第2回まちづくりフォーラム】

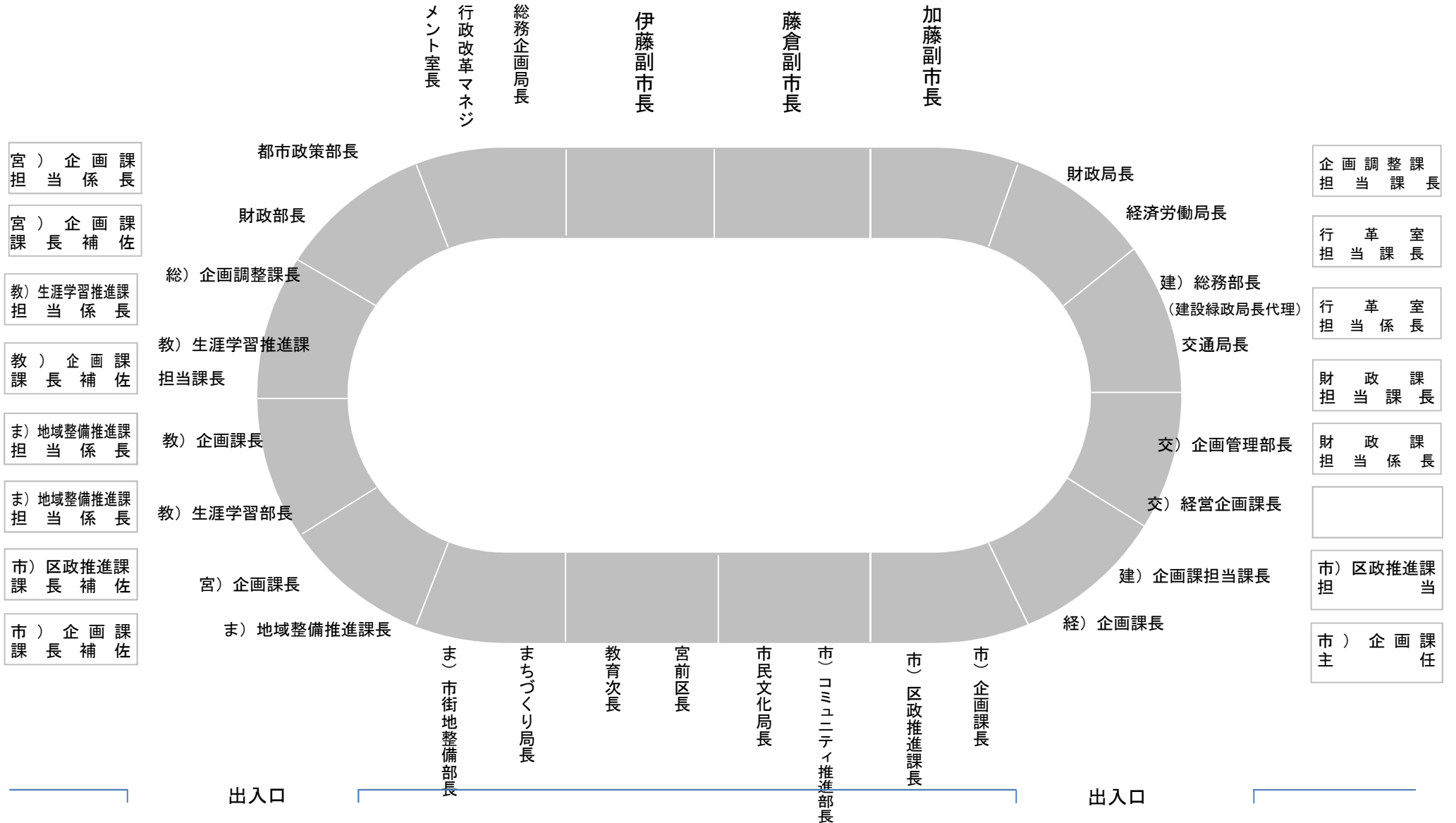
- ・日程：平成30年11月11日(日) 13:30から
- ・会場：宮前区役所4階大会議室

会議出席者一覧

| | 役 職 等 |
|----|-----------|
| 1 | 藤倉副市長（座長） |
| 2 | 伊藤副市長 |
| 3 | 加藤副市長 |
| 4 | 総務企画局長 |
| 5 | 財政局長 |
| 6 | 市民文化局長 |
| 7 | 経済労働局長 |
| 8 | まちづくり局長 |
| 9 | 建設緑政局長 |
| 10 | 宮前区長 |
| 11 | 交通局長 |
| 12 | 教育次長 |

第4回鷺沼駅周辺再編整備公共機能検討会議座席表 (第3庁舎18階大会議室)

平成30年11月5日(月) 13:30-14:00



1 概要

(1) 総合計画上の位置付けとこれまでの経過

鷺沼・宮前平駅周辺地区は、本市総合計画において「地域生活拠点」の一つとして位置づけられ、「鷺沼駅周辺を中心に(中略)多様な都市機能の集積及び交通結節機能の強化に向けた取組を推進」することとしている。今回の民間事業者による再開発は、この位置付けに即した取組である。

そこで市では、この機会を捉え、宮前区全体の利便性向上に寄与する取組を推進できるよう、平成30(2018)年2月に「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の検討に関する考え方(以下「検討の考え方」という。)」を公表し、関係団体等への説明・ヒアリングやまちづくりフォーラム、意見交換会、アンケート調査など、多角的な区民意見の把握に取り組み、現区役所等用地のあり方なども含め、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する検討を進めている。

また、現在の建物を継続利用した場合と鷺沼駅前に移転した場合の必要概算経費の算出などについては、専門業者への委託による基礎調査を実施、公共交通による駅アクセスについては、現状や課題、取組の方向性等を整理し、再開発準備組合やバス事業者などと協議・調整を行いながら検討を進めることとしている。

(2) 中間報告まちづくりフォーラム以後の取組

平成30(2018)年8月26日(日)に開催した「中間報告まちづくりフォーラム」では、それぞれの取組についての検討状況を報告するとともに、来場者(約150人)と意見票を用いた質疑・応答を行った(資料4参照)。

フォーラム以降、以下の取組を進めており、今回の「第2回まちづくりフォーラム」では、その一部を報告する。

- (ア) **区民意識アンケート**…6月に実施した無作為抽出による区民意識アンケートについて、結果を取りまとめた(資料3参照)。
- (イ) **関係団体等説明・ヒアリング(2回目)**…区役所の日常業務等で関わりのある団体等(20団体)を対象として、中間報告フォーラムの資料を説明、質疑・応答を行っている(10/4(木)~11/8(木))。
- (ウ) **意見交換会**(資料2参照)
- (エ) **基礎調査に関する条件整理・検討**
- (オ) **区長と語ろう「宮前区のミライ」(区内中学生との意見交換)**

当資料で概要報告

2 意見交換会(ワークショップ)での検討

(1) 意見交換会の概要

4回連続のワークショップによる創造的な議論の場として、参加者同士の率直な意見交換を促し、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の検討に関する区民の生活実感としてのニーズや課題の把握に取り組んだ。

意見交換会では、参加者から出された多岐にわたる意見を「鷺沼駅周辺のまちづくりと公共機能」、「宮前区全体のまちづくりと鷺沼駅周辺の再編整備」などの4つのテーマで整理し、それぞれ第3回から第4回にかけて、まとめの意見交換を行った。第4回では、グループごとの検討を経て全体で意見交換を行い、まとめとしての模造紙の内容を共有した。

(2) 意見交換会の流れ

■ 第1回 6月9日(土) : 「共有する」

・「宮前区のミライを考える さぎぬまプロジェクト」について、期待や関心・思い・懸念することなどについて意見を自由に出し合い、共有する。

■ 第2回 7月21日(土) : 「意見を深める」

・第1回で出された意見を4つのテーマに分けて意見交換し、鷺沼駅周辺や宮前区のミライを探りながら意見を深めていく。

■ 第3回 9月8日(土) : 「意見を深め、まとめる①」

・4つのテーマに分かれてこれまでの意見を整理しながら議論を深め、課題の明確化や解決のための「機能」、「空間」のイメージを重点化、具体化し、「まとめ」を作成していく。

■ 第4回 10月27日(土) : 「意見を深め、まとめる②」

・第3回に引き続き、これまでに出された意見を整理・重点化し、意見交換会の結果として、参加者以外にも伝わるように「まとめ」を作成、全体で共有する。



※これまでの資料、意見はすべて市ホームページで公開中

さぎぬまプロジェクト

(3) 各テーマのまとめ<一部抜粋>(資料2参照)

① 鷺沼駅周辺のまちづくりと公共機能

■ Aグループ : 多様性、多世代 (Colors, Future! いろいろって、未来。)

- ・【広場】多様性のある出会いのスペース / 多様性から創造性へ / つながるスペース / 有料・無料のフリースペース
- ・【ホール】音楽、芸術、交流できる場所 / 音楽などの発表や練習の場を利便性の高いところに ⇄ 市民活動の活性化
- ・【未来型図書館+ワーキングスペース】多様なコラボレーション可能なフリーワーキングスペース / 使い方でスペースを分ける
- ・【相談窓口】障害者や高齢者、外国の方が簡単に行ける場所(駅の近く)に行政サービス機能・相談機能を設置

■ Bグループ : ベッドタウンから生活するまちへ 皆がずっと住みたい 毎日楽しいさぎぬま

- ・【働く場】多様な人々が使えるシェアワーキングスペース(空間・道具・コラボ) / 一日過ごせる
- ・【市民活動、多世代】安心感とクオリティが確保された駅前 / 生活を後押しする働く場・集う場・学ぶ場
- ・【図書館、集う場】調べる・読む・聴く・勉強する図書館 / 子どもが遊べて本がある / 音響完備のホール / 練習できる場
- ・【子ども、子育て】駅前に保育の送迎ステーション / 親の利便性、子どもの環境の確保

② 宮前区全体のまちづくりと鷺沼駅周辺再編整備

■ Cグループ : 子育てしたくなるまち 若い人が集まる 人を集める

- ・20、30年後のまちをイメージ / 適材適所で機能を考える(鷺沼、現区役所) ⇒ 働く場所(ITなどのベンチャー企業を誘致)と保育・子育て・介護の場所が近くにある、ゆったりとした時間を過ごせる、魅力発信(緑や農、文化が身近にある、歴史等)、情報収集できる、防災機能 / 相談窓口は駅近がよい / 交通アクセスの充実

■ Dグループ : 防災、コミュニケーション、教育、緑を大事にしてブランド化につなげる

- ・【災害対策】災害に強いまちづくり / 災害時を考慮した拠点配置 / 区役所は防災拠点として機能を果たせる場所に置く
- ・【コミュニケーション】跡地の適切なあり方検討 / 世代を超えて働き交流できる場所 / 現在の場所にはコミュニティセンター
- ・【魅力向上】若い人たちに選ばれるまち / 鷺沼と宮前平の二つのヘソ / 活かそうみやまの人的資源 / 教育都市

③ 交通・アクセス

■ Eグループ : 人にやさしく、まろく、近くなる さぎぬま

- ・鷺沼駅立体化 / ユニバーサルデザイン&エコな街 / 人にやさしく機能的で安全な交通広場 / ロータリーの見直し / 障害者や高齢者の方に配慮、利用者にとって便利なタクシー乗り場 / 生活に便利な鷺沼
- ・小田急・JR・東急の各路線につながるバス路線の新設 / どこへも鷺沼(北部のハブ)

④ 検討の進め方

■ Fグループ : 限られた期間における効果的な情報発信と意見の吸い上げ、継続的な市民参加、その集約、結論のまとめに向けた努力

- ・市民参加の進め方の継続 / 事業者も一緒にワークショップをやってもらいたい / 行政として100%知らせることを目指すべき

3 現区役所等建物の継続利用と鷺沼移転の比較（基礎調査報告①）

中間報告まちづくりフォーラム（8/26）では、「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能検討のための基礎調査」のうち、現在の建物の劣化状況調査などを含めた「既存建物調査」の作業状況を報告した。今回は、中間報告まちづくりフォーラムで「検討・作業中」としていた「仮修繕計画」や「概算費用の算出」など、現区役所等建物の継続利用と鷺沼移転の比較モデルの検討状況を報告する。

■ステップ1 健全度評価（中間報告まちづくりフォーラムで報告済み）
 ・過去に実施した劣化調査・診断報告書や保守点検報告書、施設管理者へのヒアリング、目視により、建物・設備の劣化状況を調査し、部位ごとにA～Dの4段階で健全度を評価

■ステップ2 仮修繕計画の立案
 ・劣化調査を踏まえ、建物を資産マネジメントカルテに基づき築60年まで使用するための年度ごとの仮修繕計画を立て、概算修繕費を算出

【仮修繕計画立案の考え方】

- ★5年以内に実施する事後修繕（部位修繕）
 ・健全度評価がDランクの部位は、緊急・早急に修繕が必要なものとして、概ね5年以内を目途に修繕を実施
- ★6年目以降に実施する計画修繕（部位修繕+大規模修繕）
 ・部位ごとの劣化状況に応じ、「平成17年版 建築物のライフサイクルコスト」（国土交通省 監修）に示された修繕周期・単価等を基に修繕年度を設定し、費用を算出
 ・大規模修繕は、耐用年数を60年程度とした場合、概ね30年以内に行うことが効率的であるが、現在の建物は未実施のため、長寿命化する場合には今後の実施を想定

| | 仮修繕計画に基づく事後修繕費 | | | | 仮修繕計画に基づく計画修繕費 | | | |
|---------|----------------|---------|-----------------------------|------------------|----------------|---------------|---------|--------------|
| | 活用時期 | 部位修繕費 | (部位) | (実施時期) | 部位修繕費 | (実施時期) | 大規模修繕費 | (実施時期) |
| 区役所 | 2042年度まで | 約 400万円 | 屋根屋上、外壁、内装、機械・電気設備 | 2021年度 | 約 1.2億円 | 2024年度～2041年度 | 約 16億円 | 2028年度（築46年） |
| 市民館・図書館 | 2045年度まで | 約 5.2億円 | 屋根屋上、外壁、内装、電気設備、(ホール舞台装置含む) | 2019年度 2021年度 | 約 5.1億円 | 2024年度～2044年度 | 約 9.4億円 | 2028年度（築39年） |

■ステップ3 現区役所等建物の継続利用と移転の比較
 ・パターンごとに、仮修繕計画に基づく想定修繕費、新施設の想定整備費、新施設の想定修繕費を算出し累計費用をグラフ化（→図表1）

- ★パターン① 長寿命化し、現地で建て替える場合（現位置）
- ★パターン② 鷺沼駅周辺再編整備に伴い移転する場合（鷺沼駅周辺）
- ★パターン③ 区役所は長寿命化し、現地で建替え、市民館・図書館は鷺沼駅周辺再編整備に伴い移転

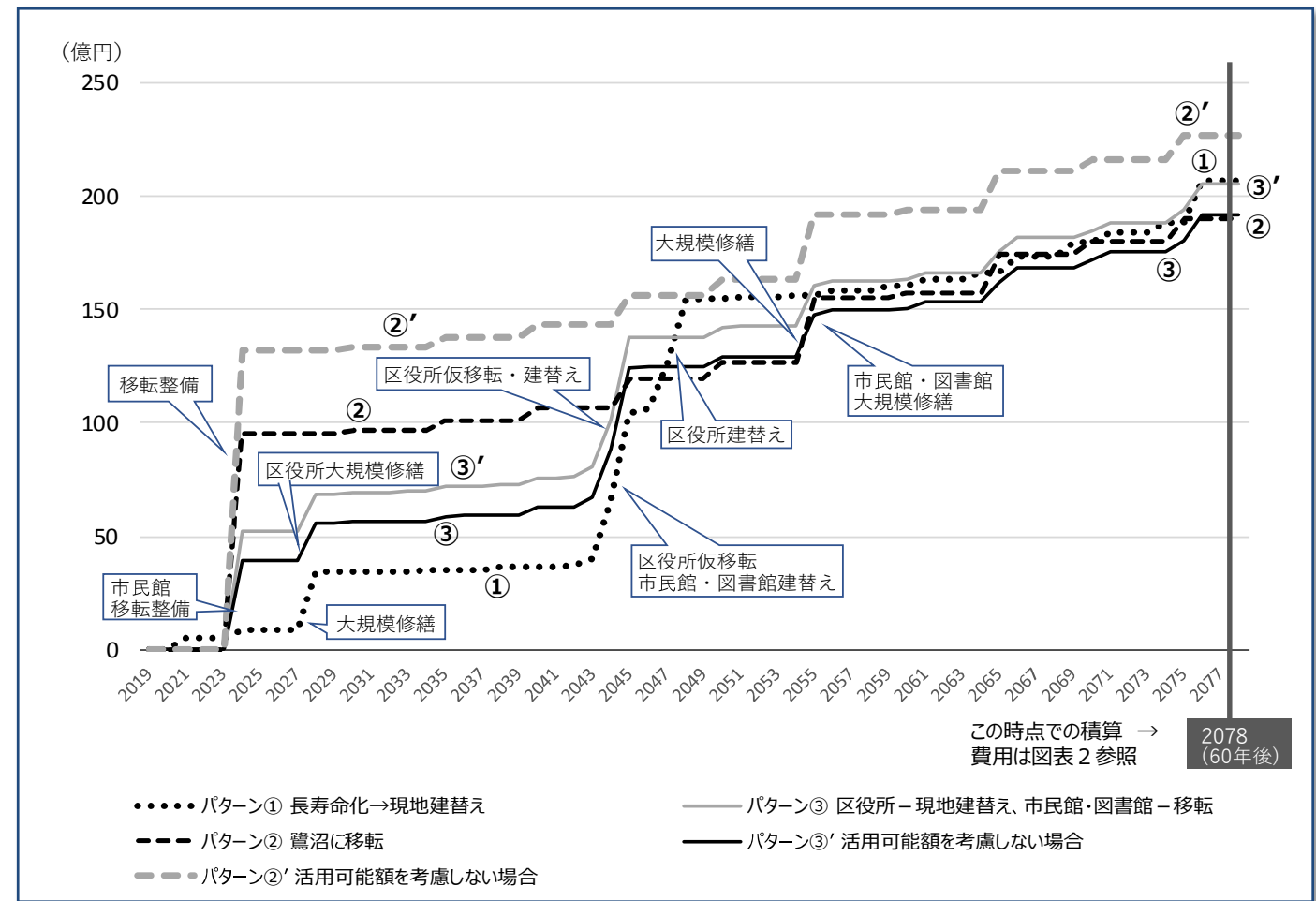
※中間報告まちづくりフォーラムにおける比較モデルとしてのパターン①、②に加え、今回新たにパターン③を設定・算出
 ※鷺沼への移転の場合は、床取得を仮定して新施設の想定整備費を算出した（土地に関する権利を含む）
 ※②、③においては、跡地となる現区役所等用地の財産台帳価格を活用可能額として考慮（区役所約24億円、市民館・図書館約13億円）

■図表2 今後60年間（※1）にかかる想定整備費用比較（2019～2078年） ※1 算出期間は、かわさき資産マネジメントカルテで定める建築物の目標耐用年数である60年を適用 ※2 各項目の想定費用は設定条件によって変動するため、5%程度の幅で記載

| | | 現施設の仮修繕計画に基づく想定修繕費 a | | 新施設の想定整備費 b | | | 新施設の想定修繕費 c | | 現区役所等用地財産台帳価格 d | 累計費用 e a+b+c-d (a+b+c) | |
|-----------------|---------|----------------------|--------------|-------------|-----------|--------|-----------------------------|--------|-----------------|------------------------------|-----------------------------|
| | | 修繕費 | 保全期間 | 本体整備費 | 仮設関係費用 | 移転時期 | 小計 <中間報告まちづくりフォーラムでの公表額> | 修繕費 | | | 保全期間 |
| ①長寿命化→現地建替え | 区役所 | 約 17億円 | 24年間（築60年まで） | 約 42億円 | ※4 約 16億円 | 2049年度 | 約 117億円 <約110～120億円> | 約 16億円 | 29年間 | - | ※2 202～212億円 |
| | 市民館・図書館 | 約 20億円 | 27年間（築60年まで） | 約 59億円 | - | 2046年度 | | 約 36億円 | 32年間 | | |
| ②鷺沼に移転 | 区役所 | 約 0.04億円 | 6年間（築42年まで） | 約 79億円 | - | 2025年度 | 約 132億円 <約125～135億円> | 約 42億円 | 53年間 | 約 24億円 | ※2 185～195億円 (222～232億円) |
| | 市民館・図書館 | 約 0.02億円 | 6年間（築39年まで） | ※3 約 53億円 | - | 2025年度 | | 約 53億円 | 53年間 | | |
| ③区役所-現地市・図-鷺沼移転 | 区役所 | 約 17億円 | 24年間（築60年まで） | 約 42億円 | ※5 約 13億円 | 2046年度 | 約 108億円 | 約 27億円 | 32年間 | - | ※2 187～197億円 (200～210億円) |
| | 市民館・図書館 | 約 0.02億円 | 6年間（築39年まで） | ※3 約 53億円 | - | 2025年度 | | 約 53億円 | 53年間 | | |

※3 国庫補助3割（約23億円）を控除した額 ※4 仮設期間を6年間と想定した費用（仮設移転+市民館・図書館、区役所建替え期間） ※5 仮設期間を3年間と想定した費用（仮設移転+区役所建替え期間）

■図表1 今後の施設整備にかかる想定累計費用



<想定修繕費 a,c の算出条件>

- ・国土交通省「建築物のライフサイクルコスト」（平成17年版）を基とし、整備時期に応じた変動率を乗じて算出
- ・現施設(図表2の項目a)については、実際の建物・設備等の仕様に応じた「精算システム」、新施設(図表2の項目c)は、仕様未定のときに用いる「概算システム」を採用

<新施設の想定整備費 b の算出条件>

| 全パターン共通 | 整備面積（延床面積）は、現施設と同じとする |
|---------------------------|-----------------------|
| ・全てに共通する解体費、移転費（1回分）は算出せず | |
| ・整備時期に応じ、変動率を考慮 | |
| ①長寿命化→現地建替え | 区役所 市民館・図書館 |
| ②鷺沼に移転 | 区役所 市民館・図書館 |

幸区役所整備費（設計費、本体・外構工事費、工事監理費）（478千円/m²）
 仮設関係費用は、区役所仮移転費用（幸区役所実績）、仮設庁舎建設用地費（市算定基準）、仮設庁舎リース料（菅生小学校実績）を基に算出
 最近の他都市類似事例(700～1200席のホールをもつ文化施設)の事業費(592千円/m²)を基に算出
 小杉駅南口地区西街区床取得単価（749千円/m²）+幸区役所内装工事費（169千円/m²）
 中原市民館・図書館の整備費（内装を含む）（778千円/m²）
 市街地再開発事業に伴う国庫補助（3割）適用を想定し、控除した費用

4 災害対策の観点からの拠点性比較（基礎調査報告②）

中間報告フォーラム（8/26）で、「a 長寿命化し、現地で建て替える場合（現位置）」と「b 鷺沼駅周辺再編整備に伴い移転する場合（鷺沼駅周辺）」の2パターンについて、「課題の整理・事業効率性の比較」として、「立地条件（位置、区内からのアクセス（公共交通）、地形、災害想定、周辺の土地利用）」、「コスト」、「維持管理・運営（建物整備時の機能・サービス、施設の維持管理、利用のしやすさ、使い勝手）」の必要な情報について整理を行ったところ、特に、災害対策に関する意見をいただいたことから、「災害対策の観点からの拠点性」に特化した比較を行う。

【参考：災害時における区本部の運営】

市内で大規模な災害が発生した場合、または発生する恐れがある場合、川崎市災害対策本部（市本部）が設置され、宮前区災害対策本部（区本部）は、市本部を構成する機関として宮前区役所に設置される。区本部は、災害時において情報収集・伝達、医療救護、避難所開設・運営及び連絡調整等の応急対策について審議・決定し、応急活動を実施することから、その庁舎には耐震、不燃化等、総合的な安全対策が必要となる。

| | 宮前平（現区役所等用地） | 鷺沼駅周辺（再開発区域） | |
|----------------|---------------------------------|--|---|
| 地形・地質 | 地形 | 台地・丘陵地（多摩川地下水系） | 台地・丘陵地（多摩川地下水系） |
| | 宅地造成 | 宅地造成工事規制区域内 | 宅地造成工事規制区域内 |
| | 大規模盛土造成地 | 区域の一部が大規模盛土造成地（谷埋め型）に該当 | 区域の一部が大規模盛土造成地（谷埋め型）に該当 |
| | 急傾斜地 | 急傾斜地崩壊危険区域外 | 急傾斜地崩壊危険区域外 |
| | 土砂災害警戒区域 | 土砂災害警戒区域外 | 法面上部（一部）が土砂災害警戒区域指定 |
| 災害時のアクセス（※） | 建物支持が可能と想定される地盤までの深さ・地下水（近傍参考値） | 標高 TP+60m/支持地盤 -14m以深/地下水位 -1.7m | 標高 TP+67m/支持地盤 -28m以深/地下水位 -6.7m |
| | 道路網 | 都市計画道路(幅員18m)に接続 | 都市計画道路(幅員16m)に接続 |
| | 緊急輸送路 | 第二次緊急輸送路に接続 | 第二次緊急輸送路に接続（前面道路は指定なし） |
| | 耐震診断義務化路線 | 指定外（「その他の緊急輸送道路」に位置づけ） | 指定外（前面道路は「その他の緊急輸送道路」の指定外） |
| 建物整備環境等 | 無電柱化整備基本方針（重点エリア） | 重点エリア内（一部無電柱化） | 重点エリア内（一部無電柱化） |
| | 整備手法 | 単独施設 | 複合施設 |
| | 周辺の公共施設 | 宮前警察署 宮前消防署 | — |
| | 周辺環境（避難所等） | 富士見台小学校（避難所） 宮前平中学校（避難所、地域防災拠点） 宮前市民館（帰宅困難者滞在施設） | 土橋小学校（避難所） 鷺沼小学校（避難所） アスリエ鷺沼（帰宅困難者滞在施設） |
| 周辺環境（オープンスペース） | — | 鷺沼ふれあい広場 | |

（※）川崎市地震被害想定調査報告書等に基づく、「大規模災害の被害想定（想定地震での震度分布、想定地震による液状化危険度、浸水被害予測、津波浸水被害予測）」については、両区域で差異が見られない。

今後、コスト面も含めた比較条件を精査するとともに、公共施設の再整備の際に新たな機能・用途・空間を付加または従来の機能を廃止・縮小した「他都市事例の調査」や、再開発を行う鷺沼駅周辺エリアの立地ならではの効果的な「機能・空間構成の検討」について、引き続き調査・検討を進めていく。

5 区長と語ろう 宮前区のミライ（宮前区内中学生との意見交換）

取扱注意

区民から「子どもたちの声も聞いてほしい」との意見が出されたことを踏まえ、10月9日（火）の「かわさき家庭と地域の日」に、中学生が自分自身と地域との関係を改めて見つめる一つの機会として開催。区役所会議室で、区内8中学校の生徒20名が区長と意見交換を行い、宮前区のまちづくりや自分の将来のことなどを語り合った。

★プログラム ～自分と地域との関係を考え、ミライを語ろう～

| 世界のミライ | 日本のミライ | 川崎のミライ | 宮前区の現状 | 宮前区のミライ | 自分のミライ |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 【STEP1】 | 【STEP2】 | 【STEP3】 | 【STEP4】 | 【STEP5】 | 【STEP6】 |

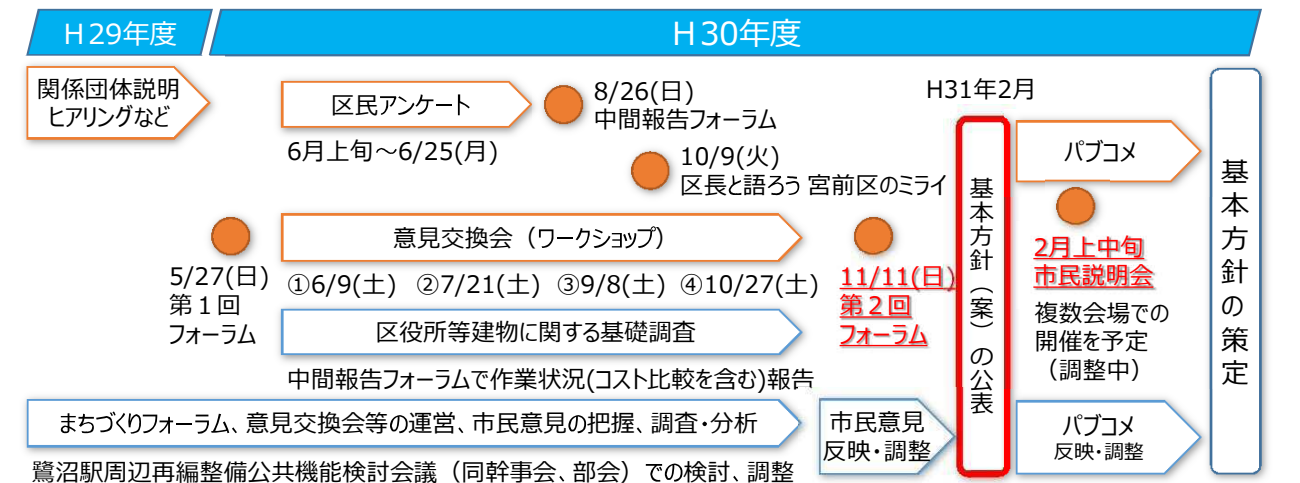
- ①世界の諸問題や日本や川崎市で近い将来起こりうることについて、中学校の教員だった区長から説明し、学習
- ②中学生に、自分にとっての地域の範囲を地図を見ながらイメージしてもらったうえで、区長から鷺沼駅周辺で計画されている再開発について説明し、今、大人たちが考えているので、皆と一緒に考えてほしいと呼びかけ
- ③区長から、5年後は高校生になり、10年後には仕事をし、20年後は子どもがいるかもしれないなど、次第に世界が広がると伝え、「将来、区外に出て、また戻って暮らしたいと思うようなまちにするにはどうしたらいいか」を議論

★中学生からの主な意見

- 考え方が違う人がたくさんいて、いろんな意見を聞けて楽しかったです。私の考え方も変わったり、「もっと良い方法があるはず」と思うこともありました。考え方が広がりました。これからできるのが楽しみです。（できるか分かりませんが……）
- 10年後、20年後の宮前区がより便利で誰もが使いやすいように話し合えたいと思います。それを活かしていきい、実現するためにも、今の自分が考えられることはやっていきたいです。
- この会を通して、現状の知らないことなどを知ることができ、少し難しかったけれど新鮮でした。父が仕事へ行く時の話を聞くと、バスの本数は多いが、道路が混んでいると言われました。交通のところをもっと改善してほしいと改めて思いました。
- 日常生活で今後のことを考える機会はあまりなかったもので、少しでも考えることができると良かった。具体的な提案も挙がっていて、様々な視点から考えられていて、より良い町になっていくのかなと思った。

6 今後の進め方

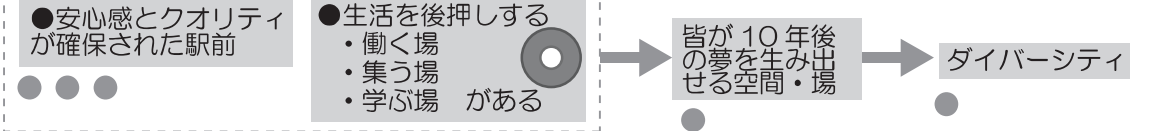
意見交換会やフォーラムをはじめ、様々な場面でいただいた区民意見や、区民意識アンケート、基礎調査の結果などを総合的に整理・検討し、平成31(2019)年2月に「(仮称)鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針(案)」を公表する(区内複数会場での市民説明会を開催予定(調整中))。



- ※ 準備組合では、平成31(2019)年度の都市計画決定手続きを経て、平成33(2021)年度からの街区ごとの段階的な施工が検討されている(今後の検討により変更になる可能性あり)。
- ※ なお、本市が行う都市計画決定手続きの中では、都市計画素案説明会や縦覧など、都市計画の内容について市民意見を伺う場がある。

ベッドタウンから生活する街へ 皆がずっと住みたい、毎日楽しいさぎぬま

ベッドタウンから生活のある街へ 一日過ごせる 皆がずっと住みたい街 毎日楽しいさぎぬま



1. 内容

鷺沼駅周辺再編整備を踏まえ、駅周辺に求めるもの

2. 解決の方向

求められる機能の内容・空間のあり方

3. こだわりのポイント

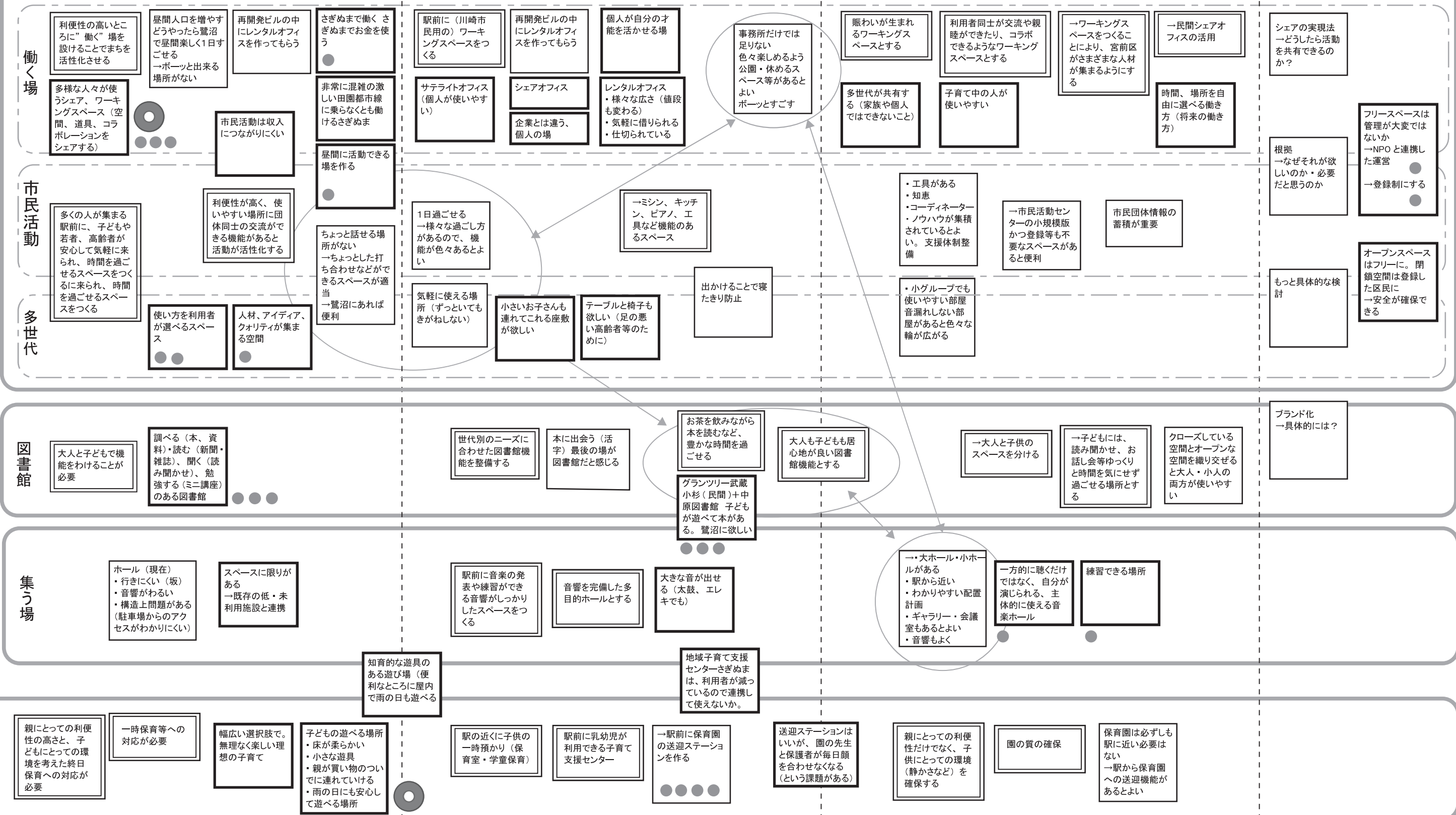
配慮すべき点や、鷺沼駅周辺であることのメリットの活用・課題への対応

4. 実現に向けた方向性

今後のプロセス・役割分担など

【交流・文化・コミュニティ】

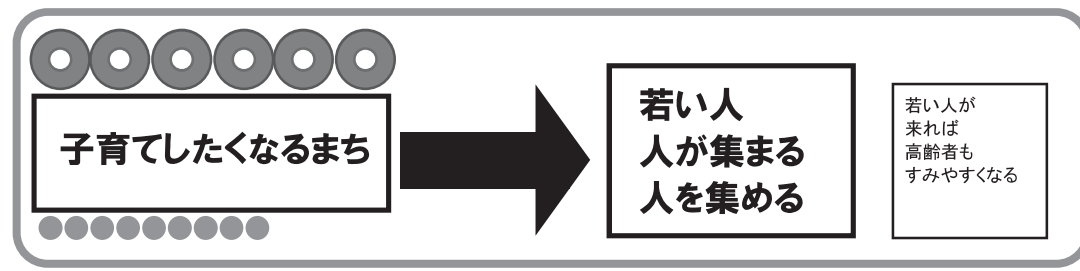
【子ども・子育て】



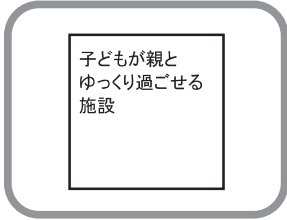
※行政サービスについては、議論しない

課題

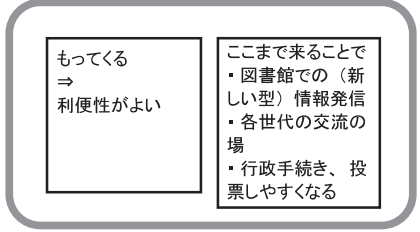
宮前区の魅力を発信できていない



ゆったりと時間をすごせる



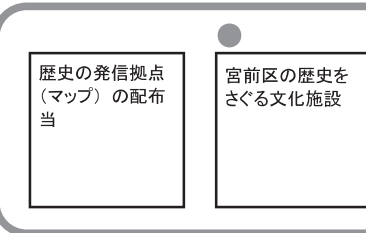
情報収集



見つけよう生きがい！
幼児
児童・生徒
中年
高齢者

保健所
図書館

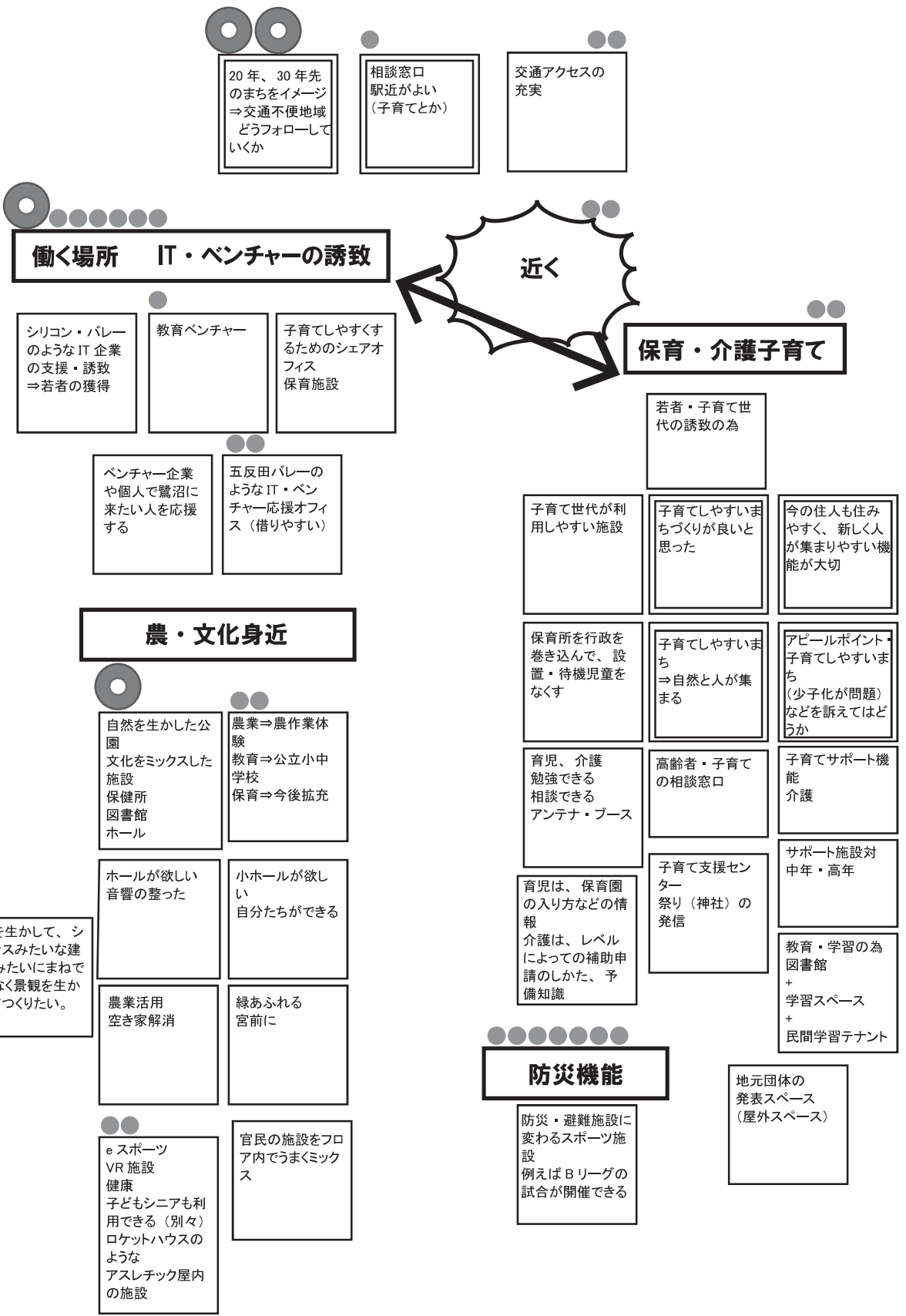
歴史をたどる



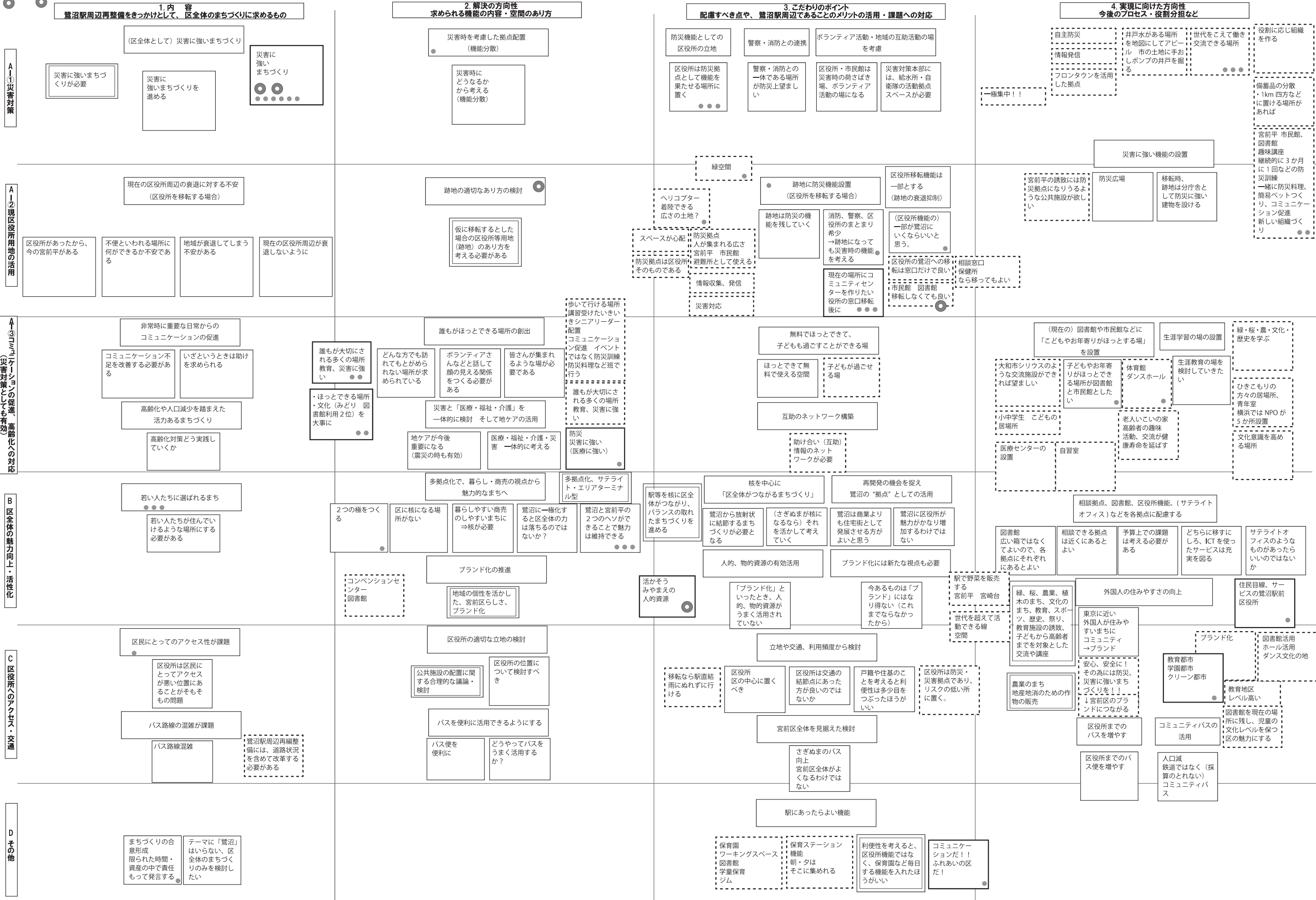
地区産物の販売拠点(農業)

音楽
スポーツ
観光
歴史
魅力発信

適材適所で機能を考える



Dグループ（区全体のまちづくりと鷺沼駅周辺の再編整備）
防災、コミュニケーション、教育、緑を大事にしてブランド化につなげる



凡例

- 第4回での意見 (黄色)
- 第4回での意見 (ピンク)
- 第3回での意見
- 第2回までの意見の整理
- 一番シール
- 重要シール

人にやさしく、まるく、近くなるさぎぬま

凡例

- キャッチフレーズ (サブ)
- 第4回での意見
- 第3回での意見
- 第2回までの意見の整理
- 一番シール
- 重要シール

1. 内容

鷺沼駅周辺再編整備を踏まえ、駅周辺や宮前区の交通・アクセスに求めるもの

2. 解決の方向

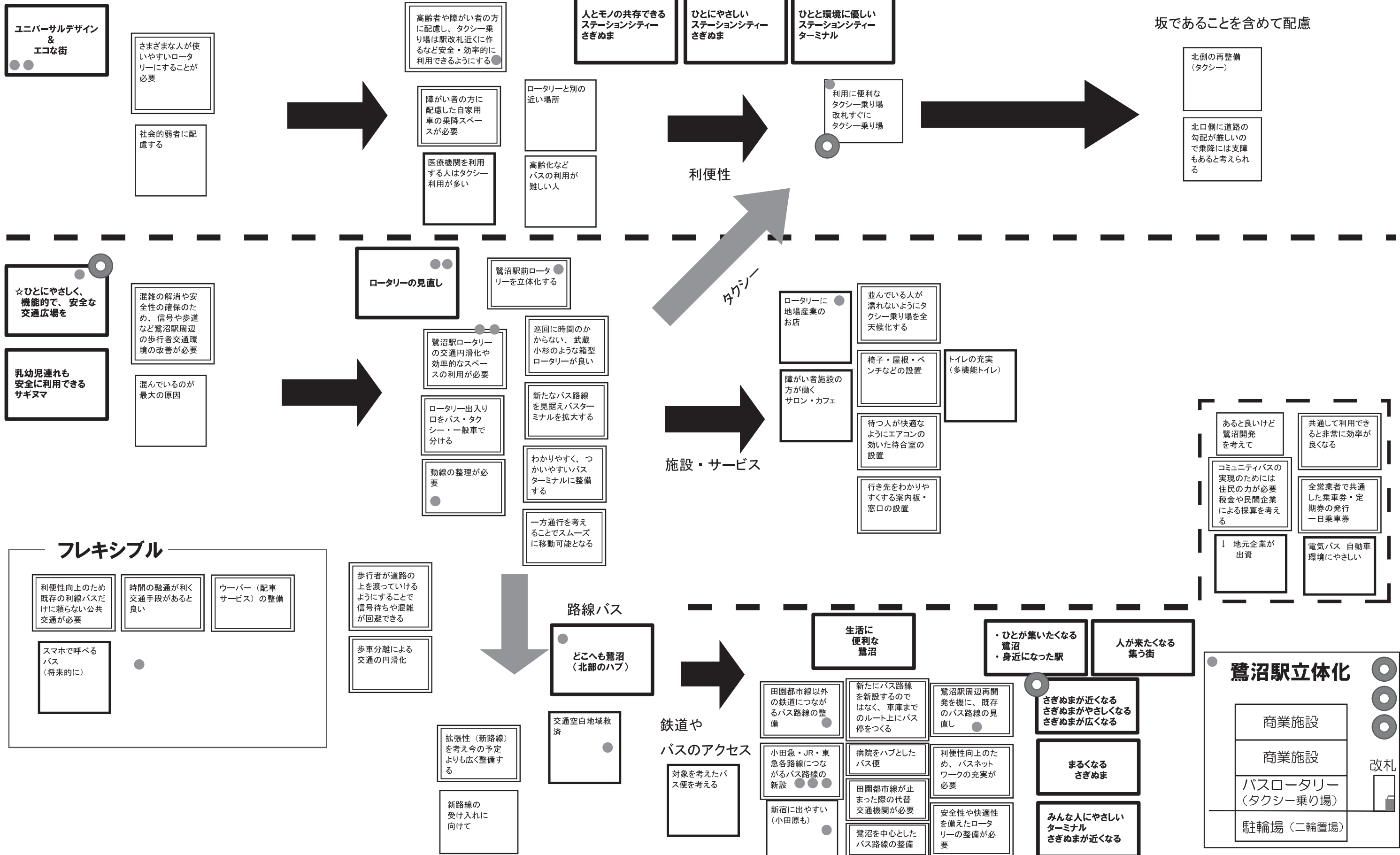
求められる機能の内容・空間の在り方

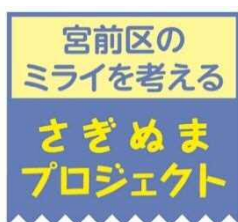
3. こだわりのポイント

配慮すべき点や、鷺沼駅周辺であることのメリットの活用・課題への対応

4. 実現に向けた方向性

求められる機能の内容・空間の在り方





鷺沼駅周辺再編整備に伴う
宮前区の今後のまちづくりに向けた
区民意識アンケート報告書 概要版

平成30年11月

川崎市宮前区

目 次

1 アンケート調査の概要

| | |
|----------------|---|
| (1) 調査目的 | 3 |
| (2) 調査方法 | 3 |
| (3) 設問内容 | 4 |

2 調査結果の概要

| | |
|-----------------------------------|----|
| (1) 回答者の属性 | 5 |
| (2) 区民の日常の生活行動 | 7 |
| (3) 宮前区の生活環境の評価 | 8 |
| (4) 区民活動や参加 | 10 |
| (5) 宮前平にある区役所・市民館・図書館の利用状況 | 11 |
| (6) 鷺沼駅前での民間事業者による再開発事業について | 13 |

1 アンケート調査の概要

(1) 調査目的

鷺沼駅前の再開発にどのような公共機能が望まれるかについて、区役所・市民館・図書館等の機能を鷺沼駅周辺に移転する可能性を含めて総合的に検討する基礎資料とするため、区内在住者を対象としたアンケート調査を実施しました。

(2) 調査方法

ア 調査対象者及び調査期間

| | |
|------|---|
| 対象人数 | 区内在住者 2,000 名 |
| 抽出方法 | 無作為抽出（対象：平成 30 年 5 月 25 日現在、住民基本台帳に記載されている 18 歳以上の区民） |
| 調査期間 | 平成 30 年 6 月 7 日（木）～6 月 25 日（月） |

イ 配布・回収方法

郵送にて配布・回収を行いました。また、回収率を向上させるため、Web（インターネット）による回答も可能としました。

ウ 回収率

回答数は 1,057 名で、回収率は 52.85%でした。このうち、Web（インターネット）による回答は 182 名で、回答数全体の 17.2%でした。

| | 実数 | 割合 |
|----------------|-------|---------|
| 回答数 | 1,057 | 52.85% |
| 内：郵送 | (875) | (82.8%) |
| 内：Web（インターネット） | (182) | (17.2%) |

エ アンケート配布・回答数と人口分布の比較

居住地別のアンケート配布数及び回答数は、人口分布とほぼ一致しました。

(P.6 右下 問 22 居住地グラフ参照)

(3) 設問内容

設問は全 28 問で、その内容は次のとおりです。

| | |
|-------|--|
| 問1 | あなたが宮前区の長所・魅力と思っているものは何ですか。あてはまるものすべてに○を付けてください。 |
| 問2 | 宮前区的生活環境について伺います。あなたは、次に挙げる項目について、どの程度満足されていますか。それぞれ1つずつ選んでください。 (1)地震・火災・風水害などの災害に対する安心感 (2)風紀上・防犯上の安心感 (3)交通事故・危険物からの安心感 (4)自然や空気のきれいさ (5)家の周りの静けさ (6)公園や緑の豊かさ (7)通勤・通学の便利さ (8)買い物の便利さ (9)医療機関までの距離 (10)休日、夜間などの救急医療体制の充実度 (11)区役所・市民館・図書館への距離 (12)市や区の窓口サービス |
| 問3 | あなたが、現在特に関心をお持ちのことは何ですか。あてはまるものすべてに○を付けてください。 |
| 問4 | あなたは、地域のボランティア活動、サークル活動などを行っていますか。あてはまるもの1つに○を付けてください。 |
| 問5 | 【問4で「活動を行っている」と回答の方】あなたが地域で活動している団体(グループや個人の活動も含む)の活動分野について、あてはまるものすべてに○を付けてください。 |
| 問6 | あなたは、これまで主にどんなときに宮前平にある公共施設(宮前区役所・市民館・図書館)に行きましたか。あてはまるものを3つまで○を付けてください。 |
| 問7 | 【問6で「ほとんど利用していない」と回答の方】宮前平にある公共施設(宮前区役所・市民館・図書館)をほとんど利用しなかった理由は何ですか。主な理由としてあてはまるものを3つまで○を付けてください。 |
| 問8 | あなたが、宮前平にある公共施設(宮前区役所・市民館・図書館)に行くときの主な交通手段は何ですか。最もあてはまるもの1つに○を付けてください。 |
| 問9 | あなたは、鷺沼駅前で民間事業者による再開発計画が検討されていることを知っていましたか。最もあてはまるもの1つに○を付けてください。 |
| 問10 | 鷺沼駅前の再開発への期待について、これまでに次のような意見が寄せられています。あなたはどう思いますか。あてはまるものすべてに○を付けてください。 |
| 問11 | 【問10で「特にない」と回答の方】鷺沼駅前の再開発への期待について、「特にない」と回答した理由は何ですか。最もあてはまるもの1つに○を付けてください。 |
| 問12 | 鷺沼駅前にあってほしい市民サービスや公共的な機能について、あなたがほしいと思うサービスや機能のすべてに○をつけてください。 |
| 問13 | 鷺沼駅周辺にあってほしい空間についても、これまでにご意見をいただいています。あなたがほしいと思うものを3つまで○をつけてください。 |
| 問14 | 今後、鷺沼駅周辺のまちづくりを進めていくうえで考慮してほしいこととして、これまでに、主に次のような意見が寄せられています。あなたはどう思いますか。あてはまるものを3つまで○をつけてください。 |
| 問16 | あなたの性別を教えてください。 |
| 問17 | あなたの年齢を教えてください。 |
| 問18-1 | あなたの世帯は何人家族ですか。ご自分を含めた人数をご記入ください。 |
| 問18-2 | 【問18-1で「2人」以上と回答の方】ひとり暮らし以外の方は、同居している家族すべてに○を付けてください。あなたからみた続柄でお答えください。 |
| 問19 | 【問18-2で「子ども」と回答の方】お子さんと同居されている方にお伺いします。どの年代のお子さんがいらっしゃいますか。あてはまるものすべてに○を付けてください。 |
| 問20 | 65歳以上の方と同居していますか。あてはまるもの1つに○を付けてください。※ご自分が65歳以上の方は「いる」に○を付けてください。 |
| 問21 | あなたは宮前区に住んで何年になりますか。最もあてはまるもの1つに○を付けてください。 |
| 問22 | あなたのお住まいをお聞かせください。あてはまるもの1つに○を付けてください。 |
| 問23 | あなたのお仕事をお聞かせください。最もあてはまるもの1つに○を付けてください。 |
| 問24 | あなたのお勤め先又は通学先はどちらですか。最もあてはまるもの1つに○を付けてください。 |
| 問25 | あなたが通勤・通学するときの主な交通手段は何ですか。最もあてはまるもの1つに○を付けてください。 |
| 問26 | 通勤・通学で、あなたが利用する最寄りの駅はどこですか。最もあてはまるもの1つに○を付けてください。 |
| 問27 | あなたが買い物に行くときの主な交通手段は何ですか。最もあてはまるもの1つに○を付けてください。 |
| 問28 | あなたが買い物に行くとき、利用する最寄りの駅はどこですか。最もあてはまるもの1つに○を付けてください。 |

2 調査結果の概要

はじめに、分析の前提となる回答者の属性や日常の生活行動についてまとめました。

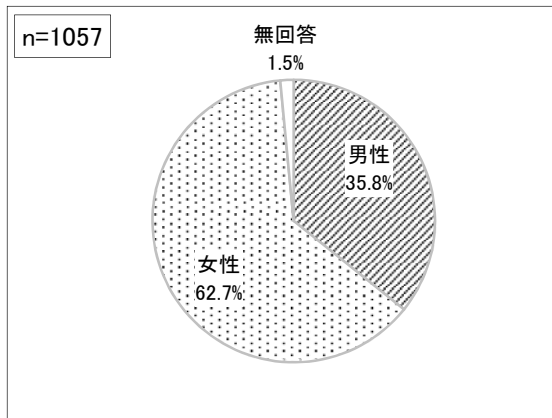
次に、宮前区の生活環境の評価、区民活動や参加の状況、宮前平にある区役所・市民館・図書館の利用状況、鷺沼駅前での民間事業者による再開発事業について集計結果を記載し、一部項目については、移動手段や家族構成により回答にどのような差異がみられるか分析しました。

(1) 回答者の属性

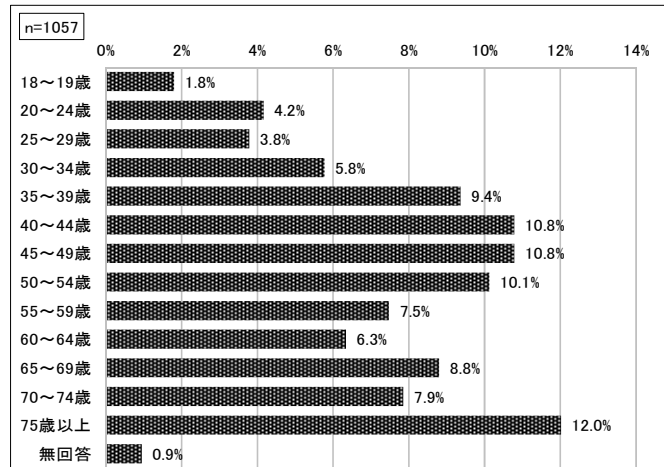
ア 年齢・性別

回答者の男女比では「男性」が35.8%、「女性」が62.7%と、女性の回答が多くなっています。回答者の年齢では、35歳から54歳の年齢層の人たち(41.1%)の回答が多い結果となっています。

■問16 回答者の性別【単一回答】(n=1057)



■問17 回答者の年齢【単一回答】(n=1057)

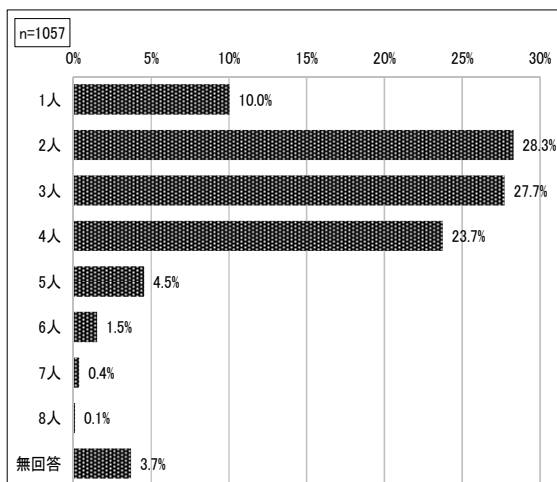


イ 世帯人員・居住年数

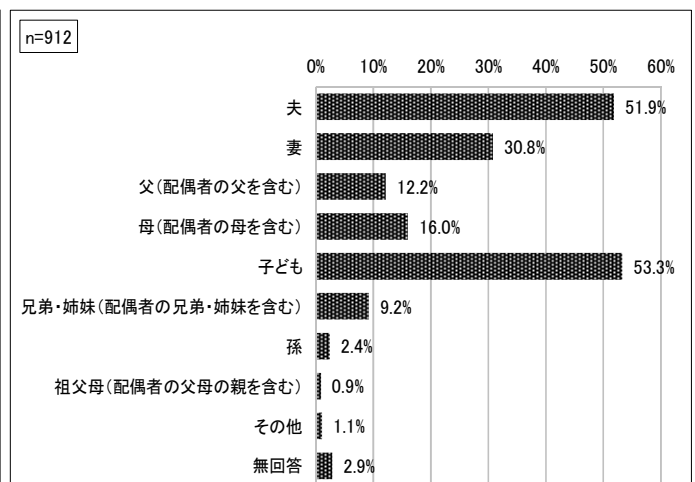
世帯の人数で最も多いのは、「2人」の28.3%となっています。次いで、「3人」が27.7%、「4人」が23.7%と続きます。

同居している家族で最も多いのは、「子ども」の53.3%で、次いで、「夫」が51.9%、「妻」が30.8%と配偶者が続き、核家族世帯の回答が多い結果となっています。

■問18 回答者の世帯人員【単一回答】(n=1057)



■問18 回答者の世帯構成【複数回答】(n=912)

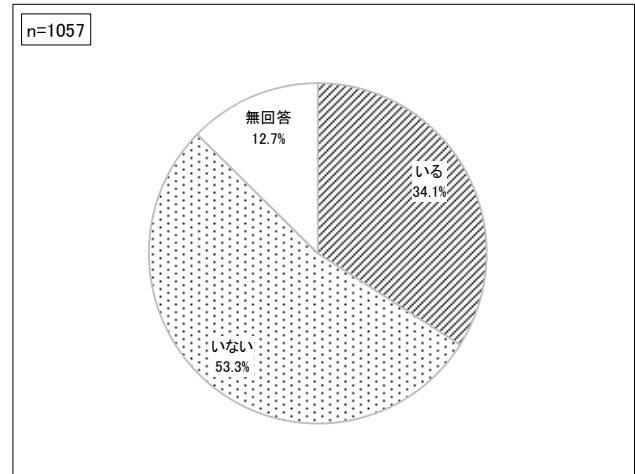
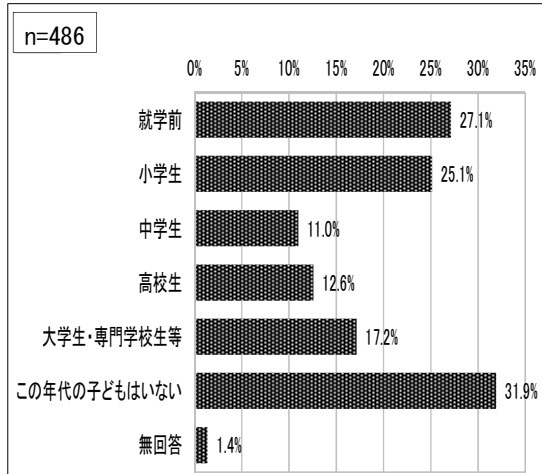


ウ 同居する子どもの年齢

子どもがいると回答した人が同居している子どもの年齢をみると、「就学前」が27.1%、「小学生」が25.1%と続く一方で、大学生・専門学校生等より上の年代の子どもを持つという回答（「この年代の子どもはいない」という回答）は、31.9%ありました。65歳以上の家族との同居については、同居している人は34.1%で、半数以上が同居していないと回答しました。

■問19 同居する子どもの年齢【複数回答】(n=486)

■問20 65才以上の方との同居【単一回答】(n=1057)



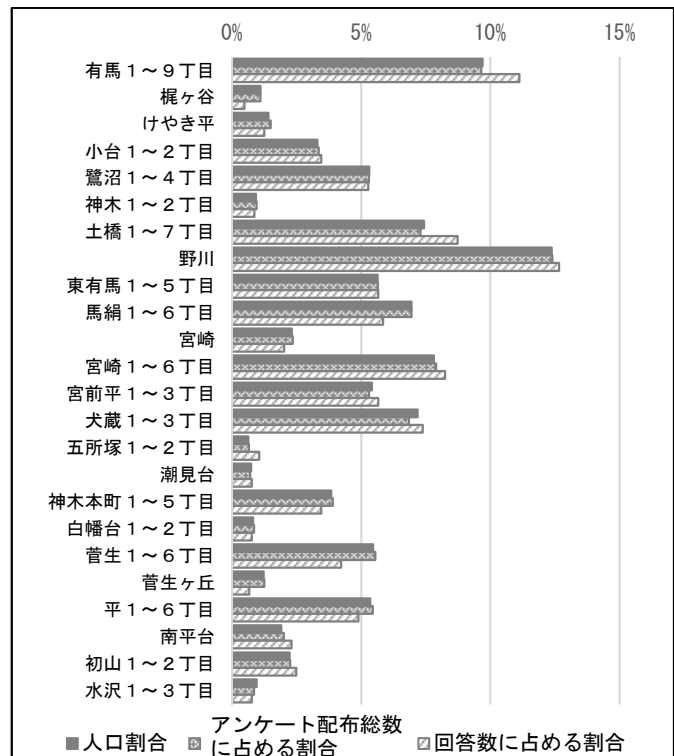
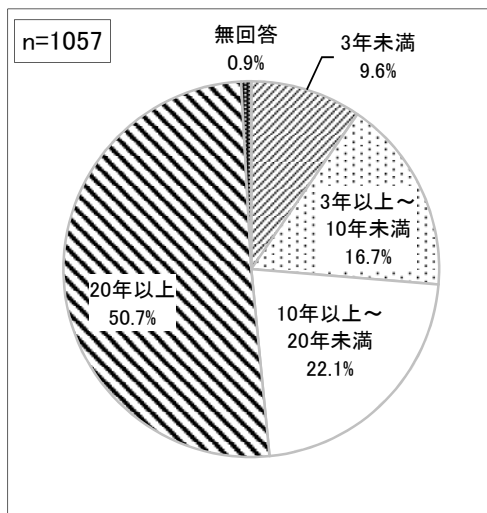
エ 宮前区での居住年数・居住地

宮前区での居住年数で最も多いのは、「20年以上」の50.7%です。次いで、「10年以上～20年未満」が22.1%、「3年～10年未満」が16.7%と、居住年数が下がるとともに割合が低くなっています。

居住地別の回答者の割合は、人口分布とほぼ一致しています。

■問21 居住年数【単一回答】(n=1057)

■問22 居住地【単一回答】(n=1057)



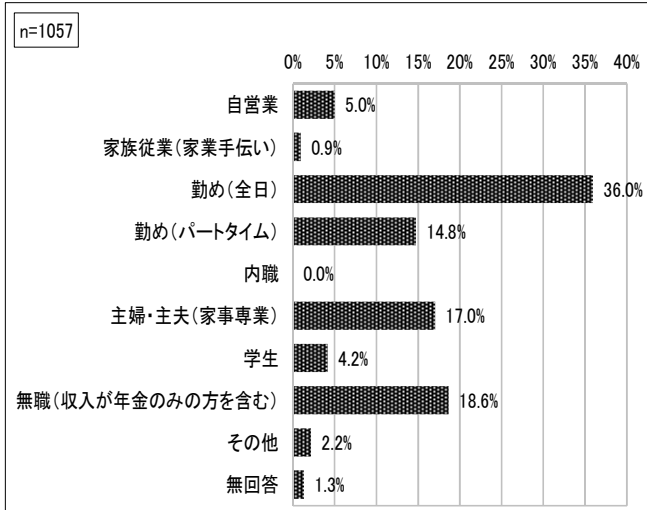
(2) 区民の日常の生活行動

ア 職業、通勤・通学先

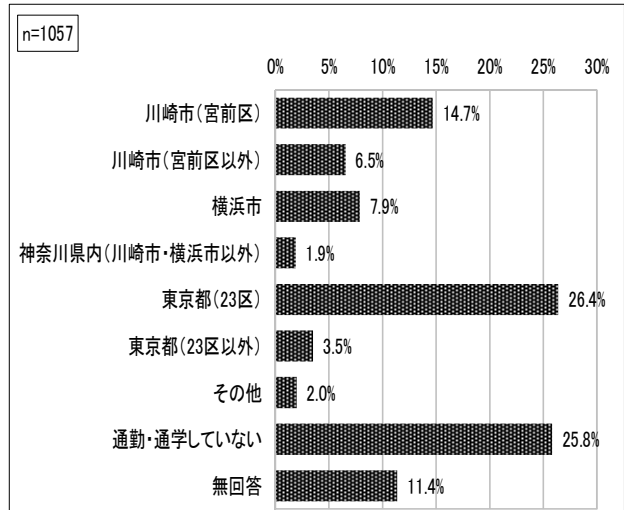
職業で最も多いのは、「勤め(全日)」の36.0%、次いで、「無職(収入が年金のみの方含む)」が18.6%、「主婦・主夫(家事専業)」が17.0%となっています。

勤務先・通学先で最も多いのは「東京都(23区)」の26.4%、「横浜市」が7.9%、川崎市全体では21.2%で、「通勤・通学していない人」も25.8%ありました。

■問23 職業【単一回答】(n=1057)



■問24 勤務先・通学先【単一回答】(n=1057)

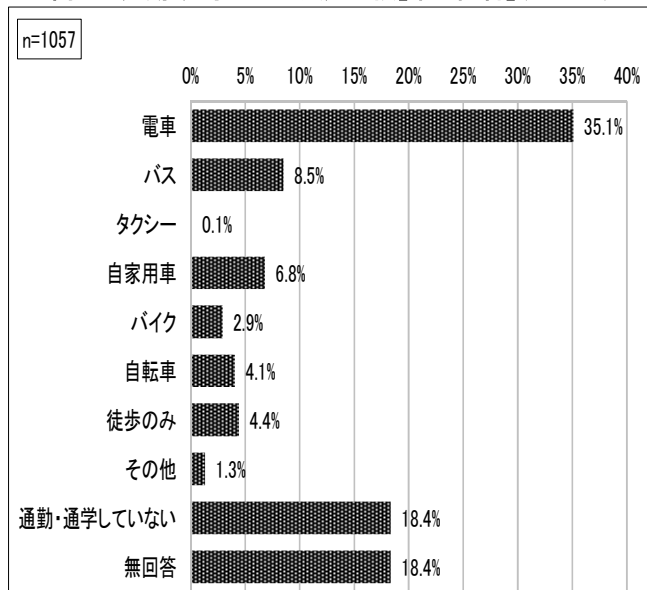


イ 通勤・通学時の主な交通手段と最寄り駅

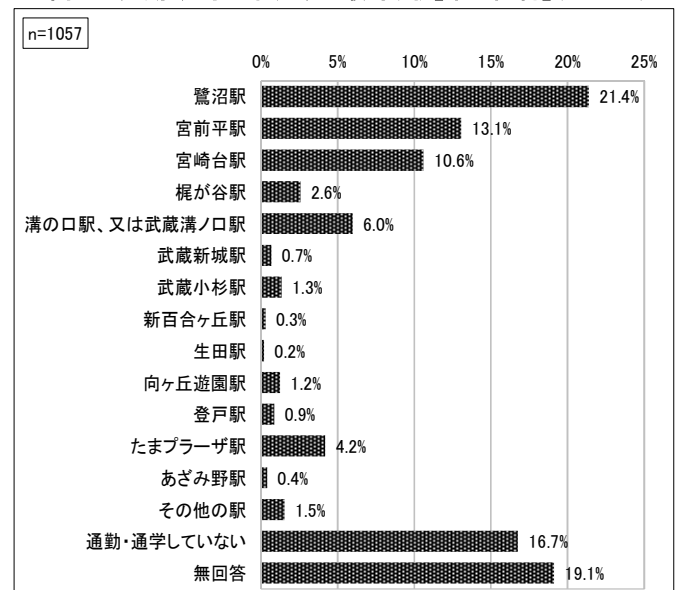
通勤・通学の交通手段で最も多いのは、「電車」の35.1%、約1/3の人が電車利用でした。次いで、「バス」が8.5%、「自家用車」が6.8%となっています。「通勤・通学していない」と「無回答」がそれぞれ18.4%ありました。

また、通勤・通学で利用する最寄り駅で最も多いのは、「鷺沼駅」の21.4%、次いで、「宮前平駅」が13.1%、「宮崎台駅」が10.6%、「溝の口駅、又は武蔵溝ノ口駅」が6.0%、「たまプラーザ駅」が4.2%となっています。「通勤・通学していない」が16.7%、「無回答」が19.1%ありました。

■問25 通勤・通学の主な交通手段【単一回答】(n=1057)



■問26 通勤・通学で利用する最寄り駅【単一回答】(n=1057)

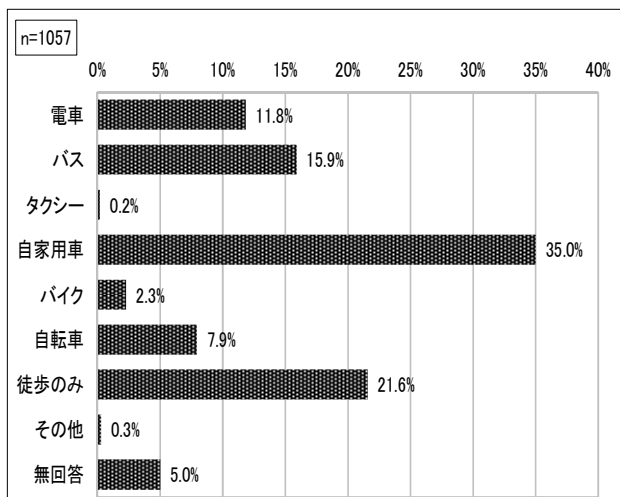


ウ 買い物に行くときの主な交通手段と最寄り駅

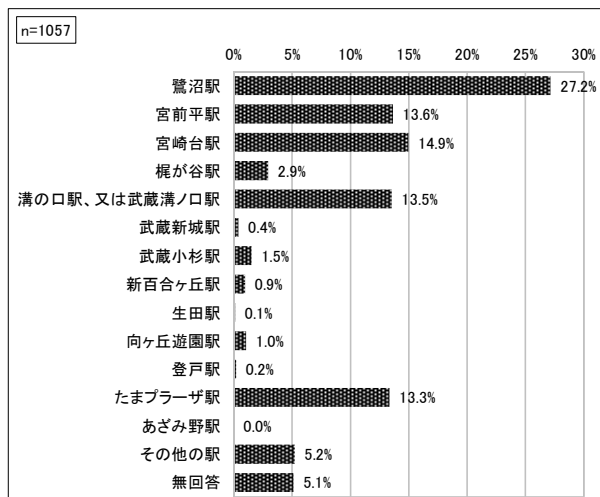
買い物の際の主な交通手段で最も多いのは、「自家用車」の35.0%と約1/3の人が車利用でした。次いで、「徒歩のみ」が21.6%、「バス」が15.9%、となっています。

また、買い物で利用する最寄り駅で最も多いのは、「鷺沼駅」の27.2%、次いで、「宮崎台駅」が14.9%、「宮前平駅」が13.6%、「溝の口駅、又は武蔵溝ノ口駅」が13.5%、「たまプラーザ駅」が13.3%となっています。

■問27 買い物の際の主な交通手段【単一回答】(n=1057)



■問28 買い物の際の最寄り駅【単一回答】(n=1057)



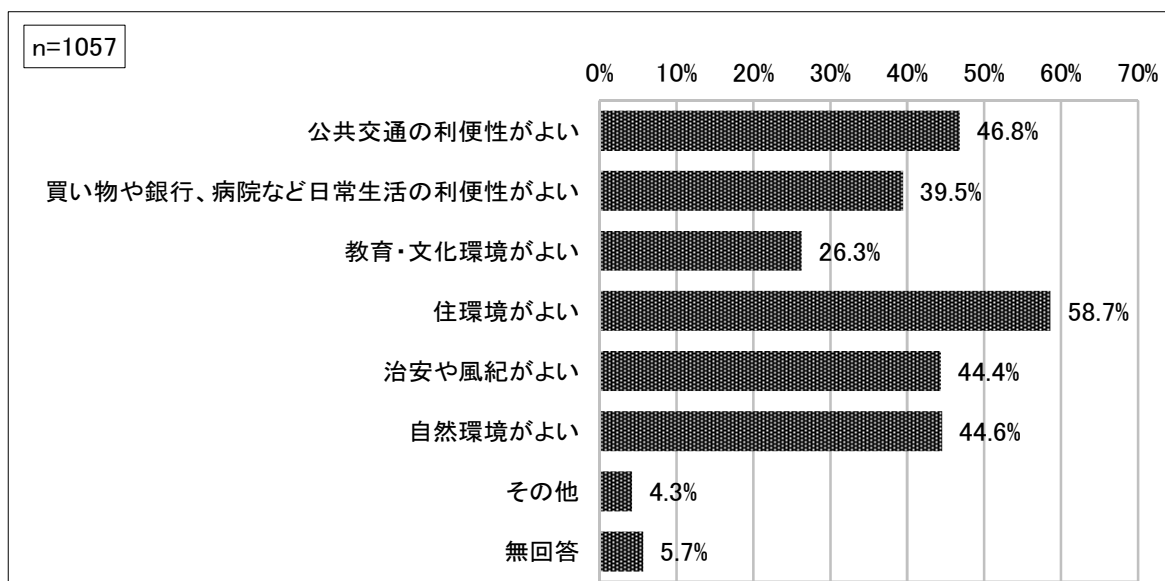
(3) 宮前区的生活環境の評価

ア 宮前区の長所・魅力

宮前区の長所・魅力で最も多いのは、「住環境がよい」の58.7%となっています。次いで、「公共交通の利便性がよい」、「自然環境がよい」、「治安や風紀がよい」がほぼ横並びとなっています。

「買い物や銀行、病院などの日常生活の利便性がよい」、「教育・文化環境がよい」については、若干少なくなっています。

■問1 宮前区の長所・魅力【複数回答】(n=1057)

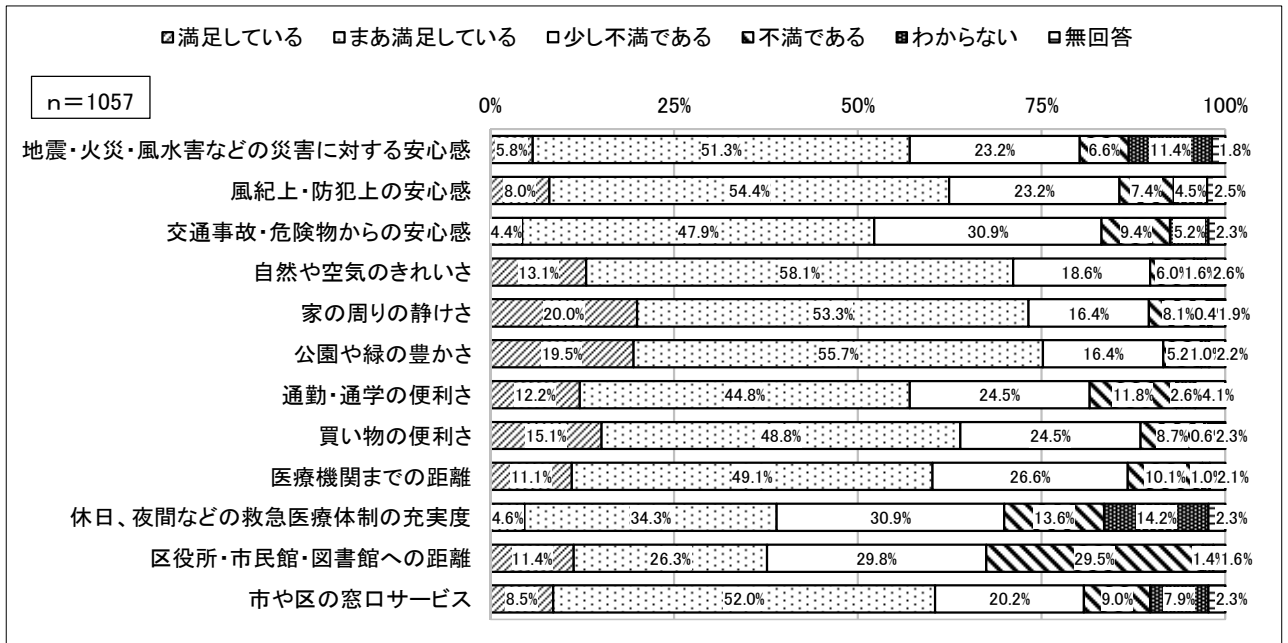


イ 宮前区の生活環境・満足度

満足度を尋ねた12項目のうち、「満足」（「満足している」と「まあまあ満足している」の合計。以下同じ）と答えた人が5割を超えたのは10項目でした。

「不満」（「少し不満である」と「不満である」の合計。以下同じ）と答えた人が多かった項目は、「休日、夜間などの救急医療体制の充実度」と「区役所・市民館・図書館への距離」の2項目となっています。

■問2 宮前区の生活環境への満足度【各項目について単一回答】(n=1057)



【参考】川崎市全体との比較から分かる宮前区民の満足度の特徴

「平成29年度かわさき市民アンケート」にも、類似の設問があります。同アンケートの報告書によれば、「宮前区と市全体の満足度を比較すると、『自然環境』では、どの項目も市全体の満足度を上回っており、特に『公園や緑の豊かさ』は11.1ポイント上回っている。一方、『利便性』ではどの項目も市全体の満足度を下回っており、特に『通勤・通学の便利さ』は15.4ポイント、『病院や医院までの距離』は11.9ポイント下回っている。『サービス』でも『休日、夜間などの救急医療体制の充実度』は6.9ポイント、『市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離』は9.6%下回っている。『安全性』では特に目立った点は見られない」とされています。

このことから、宮前区民は市全体と比べ、「自然環境」の満足度は高いものの、「利便性」や「サービス」についての満足度が低い傾向にあることが分かります。

■生活環境の満足度（「満足している」と「まあ満足している」の率の合計）

| | 地震・火災・風水害などの災害に対する安心感 | 風紀上・防犯上の安心感 | 交通事故・危険物からの安心感 | 空気や川・海のきれいさ | 家の周りの静けさ | 公園や緑の豊かさ | 通勤・通学の便利さ | 買い物の便利さ | 病院や医院までの距離 | 休日、夜間などの救急医療体制の充実度 | 市民館・図書館・スポーツ施設などへの距離 | 市や区の窓口サービス |
|-----|-----------------------|-------------|----------------|-------------|----------|----------|-----------|---------|------------|--------------------|----------------------|------------|
| 宮前区 | 58.0 | 58.8 | 57.6 | 53.7 | 71.8 | 77.3 | 53.7 | 66.3 | 62.0 | 46.7 | 43.5 | 62.7 |
| 全体 | 54.3 | 57.9 | 55.3 | 52.4 | 67.6 | 66.2 | 69.1 | 73.5 | 73.9 | 53.6 | 53.1 | 61.6 |
| | 安全性 | | | 自然環境 | | | 利便性 | | | サービス | | |

(出典) 平成29年度かわさき市民アンケート報告書(平成30年3月発行)

● 移動手段別 区役所・市民館・図書館への距離の満足度

問2の「区役所・市民館・図書館への距離」について全体でみると、「満足」と答えた人は37.7%、「不満」と答えた人は59.3%と、不満と答えた人は6割近くになり、「不満」が「満足」に比べて21.6ポイント多くなっています。

移動手段別でみると、「満足」と答えた人が一番多いのは、「徒歩のみ」の66.4%、次いで、「自転車」が54.1%と続いています。一方、「不満」が一番多いのは「電車」の85.7%、次いで、「バス」が76.0%でした。

■問2.11 移動手段別 区役所・市民館・図書館への距離の満足度【単一回答】(n=1057)

| | (n=) | 満足している | まあ満足している | 少し不満である | 不満である | わからない | 無回答 |
|--------------|--------|--------|----------|---------|-------|-------|-----|
| 全体 | (1057) | 11.4 | 26.3 | 29.8 | 29.5 | 3.6 | 3.6 |
| 電車 | (56) | 8.9 | 33.9 | 51.8 | 3.6 | 3.6 | 3.6 |
| バス | (270) | 17.4 | 34.1 | 41.9 | 3.6 | 3.6 | 3.6 |
| タクシー | (11) | 18.2 | 36.4 | 27.3 | 18.2 | 3.6 | 3.6 |
| 移動手段 自家用車 | (314) | 3.5 | 31.8 | 34.4 | 28.7 | 3.6 | 3.6 |
| バイク | (32) | 6.3 | 37.5 | 31.3 | 21.9 | 3.6 | 3.6 |
| 自転車 | (85) | 14.1 | 40.0 | 22.4 | 18.8 | 3.6 | 3.6 |
| 徒歩のみ | (223) | 37.7 | 28.7 | 19.3 | 12.6 | 3.6 | 3.6 |
| 無回答 | (66) | 3.0 | 21.2 | 30.3 | 39.4 | 4.5 | 4.5 |

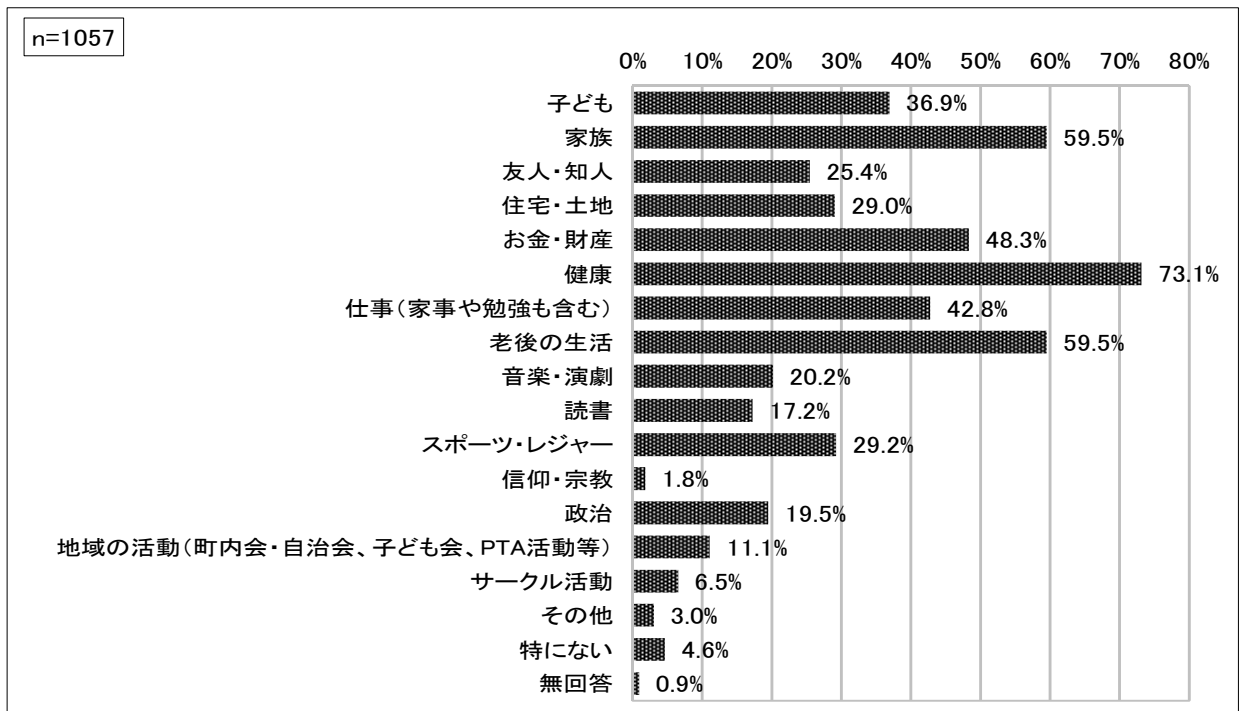
※3.0未満は非表示

(4) 区民活動や参加

ア 市民の現在の関心事

回答者が関心を持つ事柄について最も多いのは、「健康」の73.1%、次いで、「家族」と「老後の生活」がそれぞれ59.5%、「お金・財産」が48.3%、「仕事(家事や勉強も含む)」が42.8%、「子ども」が36.9%となっています。

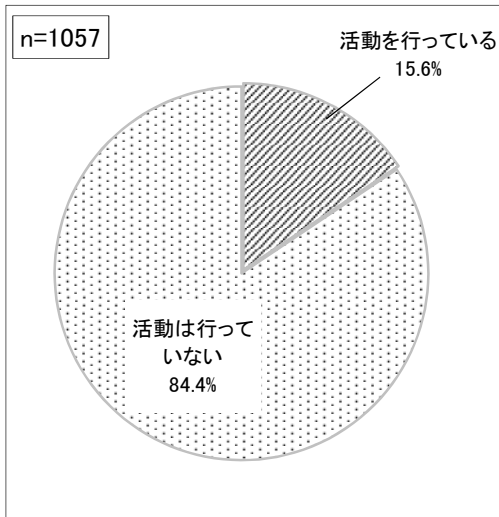
■問3 現在特に関心を持っていること【複数回答】(n=1057)



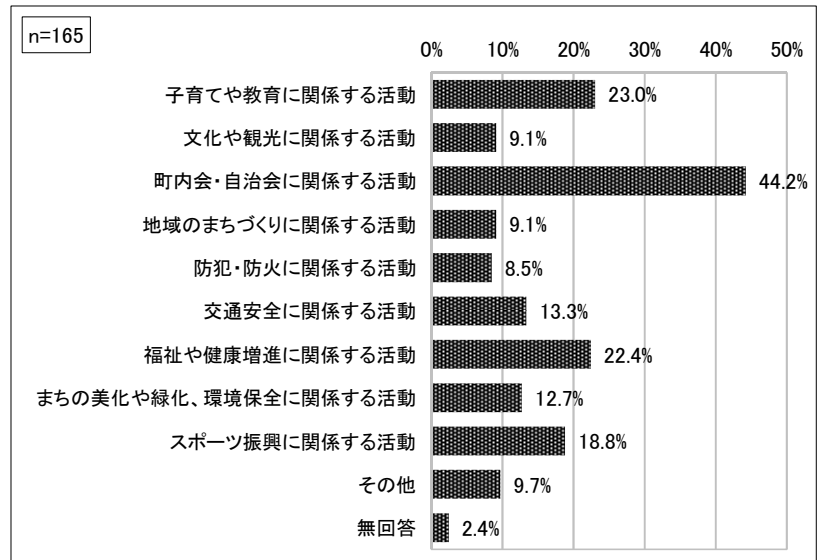
イ 地域のボランティア活動等への参加状況

地域のボランティア活動、サークル活動について、「活動を行っていない」と答えた人が84.4%で、「活動を行っている」と答えた人のうち、最も多かった活動分野は、「町内会・自治会に関する活動」の44.2%でした。

問4 地域のボランティア活動等への参加の有無
【単一回答】(n=1057)



問5 参加している活動分野【複数回答】(n=165)

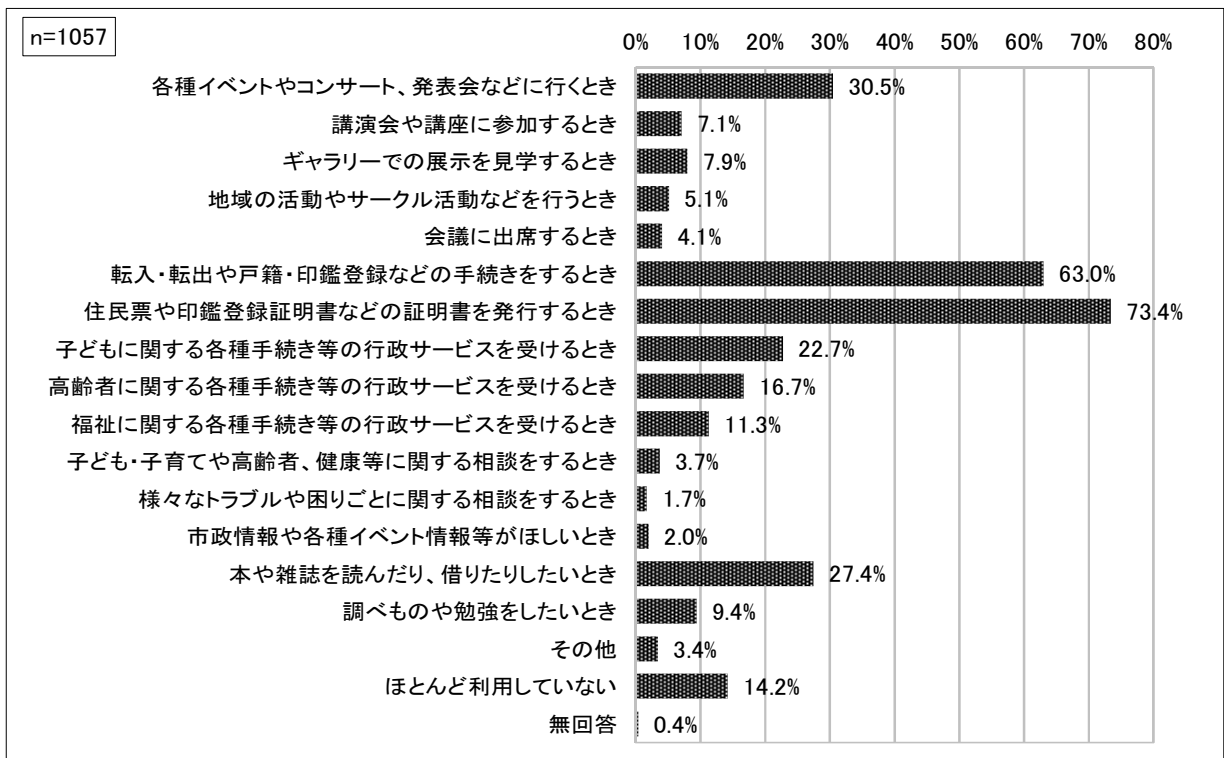


(5) 宮前平にある区役所・市民館・図書館の利用状況

ア 宮前平にある公共施設への訪問理由

宮前平にある公共施設への訪問理由については、「住民票や印鑑登録証明書などの証明書を発行するとき」が73.4%、「転入・転出や戸籍・印鑑登録などの手続きをするとき」が63.0%と多くなっています。

問6 宮前平にある公共施設への訪問理由【複数回答】(n=1057)

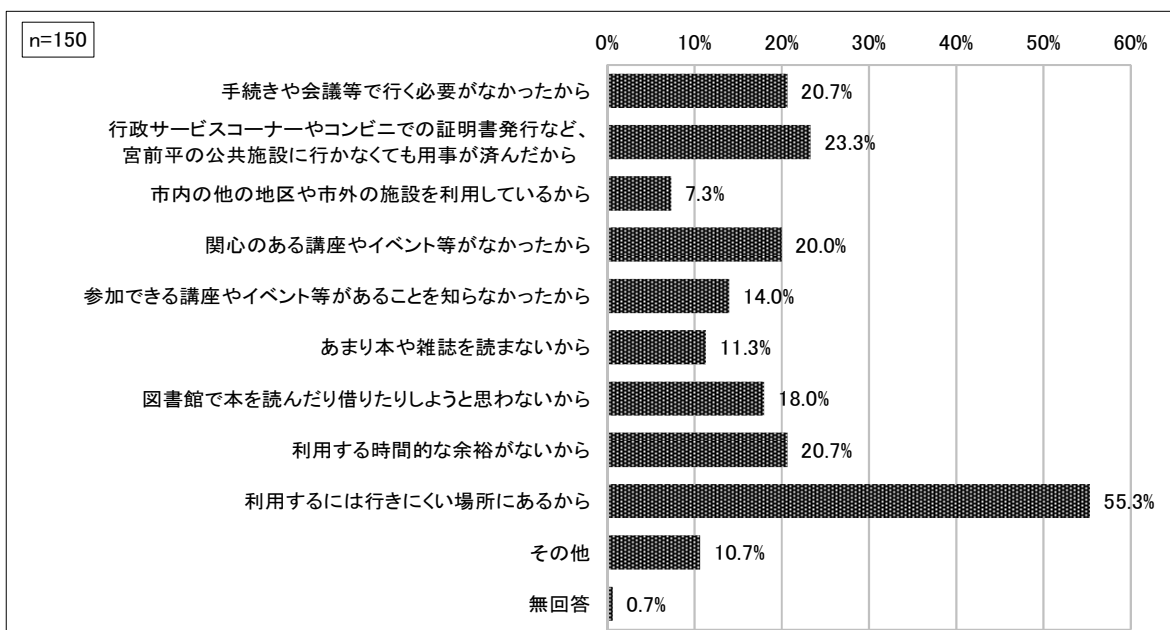


イ 宮前平にある公共施設を利用しない理由

問6で宮前平にある公共施設を「ほとんど利用していない」と回答した14.2% (150人)の人にその理由を聞きました。

宮前平にある公共施設を利用しない理由で最も多いのは、「利用するには行きにくい場所にあるから」の55.3%、次いで、「行政サービスコーナーやコンビニでの証明書発行など、宮前平の公共施設に行かなくても用事が済んだから」が23.3%、「手続きや会議等で行く必要がなかったから」と「利用する時間的な余裕がないから」が20.7%、「関心のある講座やイベント等がなかったから」が20.0%となっており、行きにくい場所にあることが利用しない最も大きな理由になっています。

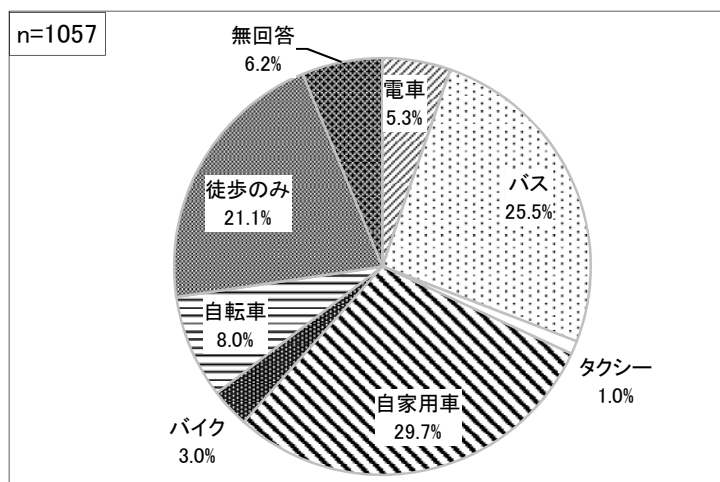
■問7 宮前平にある公共施設を利用しない理由【複数回答】(n=150)



ウ 宮前平にある公共施設へ行くときの交通手段

宮前平にある公共施設へ行くときの交通手段で最も多いのは、「自家用車」の29.7%、次いで、「バス」が25.5%、「徒歩のみ」が21.1%となり、この3つが主な交通手段となっています。

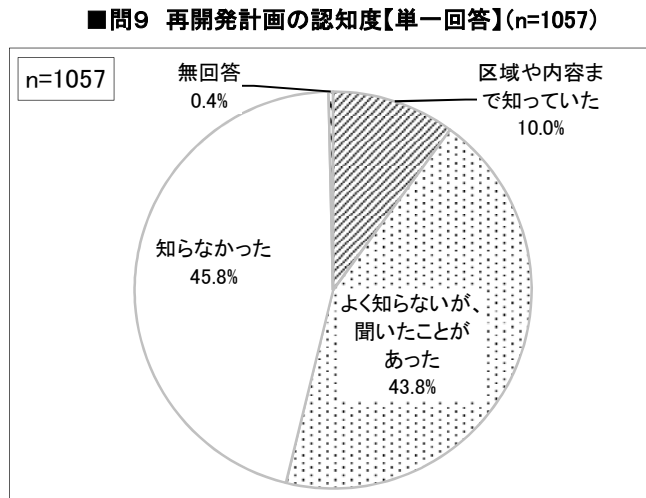
■問8 宮前平にある公共施設へ行くときの交通手段【単一回答】(n=1057)



(6) 鷺沼駅前での民間事業者による再開発事業について

ア 鷺沼駅前の民間事業者による再開発計画の認知度

再開発計画の認知度で最も多かったのは、「知らなかった」の45.8%、次いで、「よく知らないが聞いたことがあった」が43.8%で、「区域や内容まで知っていた」が10.0%でした。

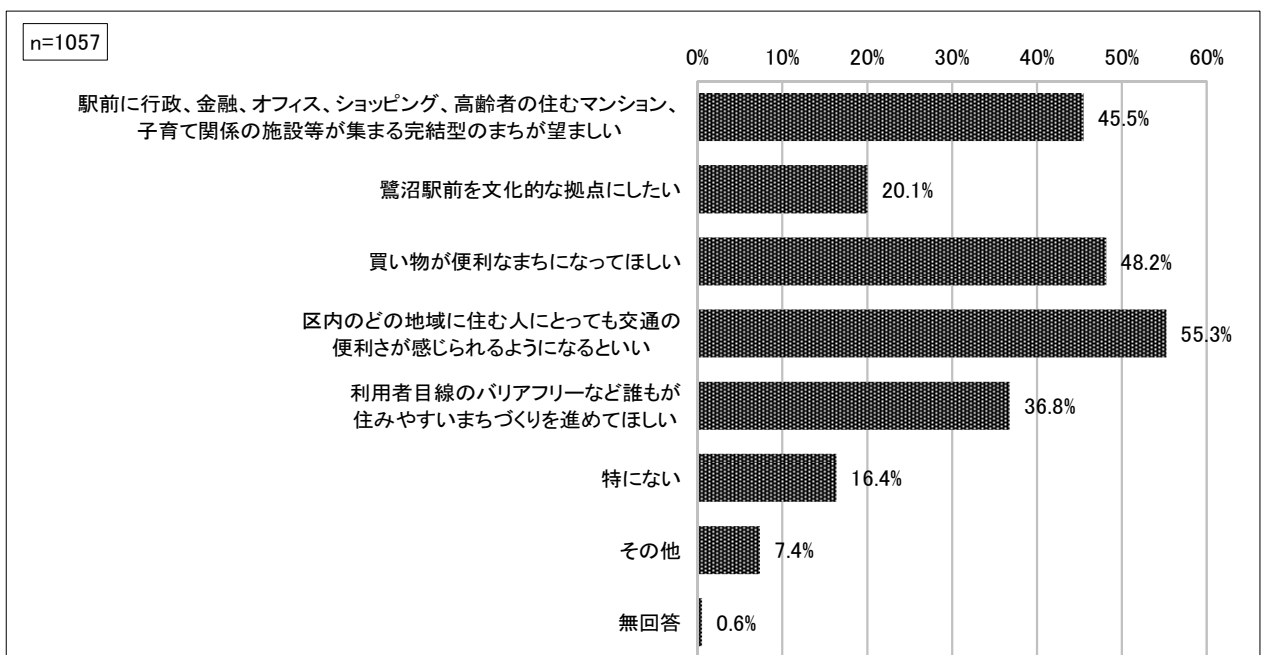


イ 鷺沼駅前の再開発への期待

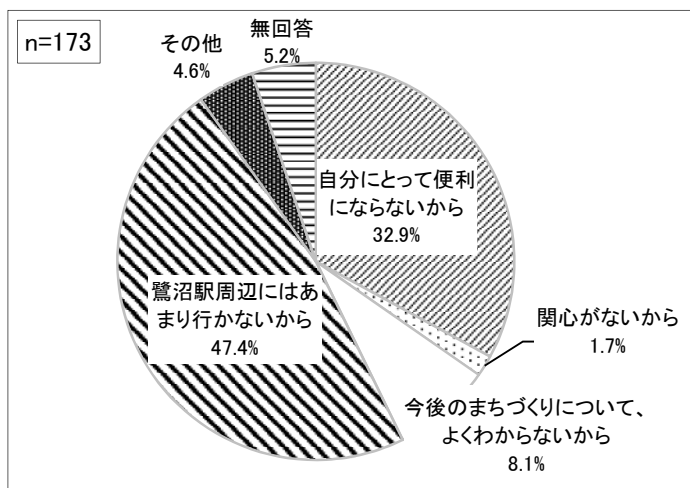
再開発への期待で最も多かったのは、「区内のどの地域に住む人にとっても交通の便利さが感じられるようになる」という交通の利便性向上に期待する意見で55.3%、次いで、「買い物が便利なまちになってほしい」という買い物の利便性の向上に期待する意見が48.2%、「駅前に行政、金融、オフィス、ショッピング、高齢者の住むマンション、子育て関係の施設等が集まる完結型のまちがのぞましい」という多様な機能が集まる完結型のまちづくりに期待する意見が45.5%と4割を超える結果となりました。

続いて、「利用者目線のバリアフリーなど誰もが住みやすいまちづくりを進めてほしい」が36.8%、「鷺沼駅前を文化的な拠点にしたい」が20.1%、「特にない」が16.4%でした。

■問10 再開発への期待【複数回答】(n=1057)



■問 11 再開発に期待しない理由【単一回答】(n=173)



問 10 で再開発への期待が「特にない」と答えた人 16.4% (173 人) にその理由を聞いたところ、最も多かったのは「鷺沼駅周辺にはあまり行かないから」の 47.4%、次いで、「自分にとって便利にならないから」が 32.9% と両方で 8 割となっています。

ウ 鷺沼駅前にあってほしい市民サービスや公共的な機能

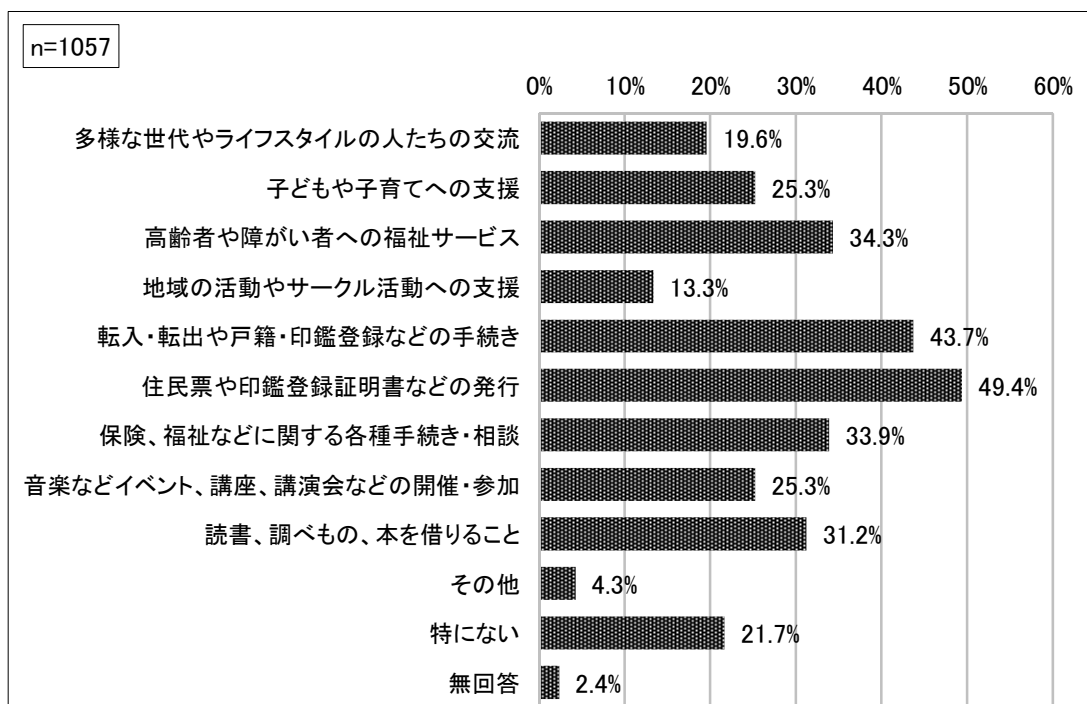
鷺沼駅前にあってほしい市民サービスや公共的な機能で最も多かったのは、「住民票や印鑑証明書などの発行」の 49.4%、次いで、「転入・転出や戸籍・印鑑登録などの手続き」が 43.7% となっており、基本的な行政サービス機能を求める回答が多い結果となりました。

また、「高齢者や障がい者への福祉サービス」が 34.3%、「保険、福祉などに関する各種手続き・相談」が 33.9% と、福祉サービスに関する項目が 3 割を超えています。

「読書、調べもの、本を借りること」が 31.2% と図書館機能に関する項目も 3 割を超えるほか、「子どもや子育てへの支援」、「音楽などイベント、講座、講演会などの開催・参加」、「多様な世代やライフスタイルの人たちの交流」といった子育てや文化・交流に関する項目が続きました。

基本的な行政サービス機能に加え、福祉、文化・教育、市民交流といった機能を求める意見もある一方で、「特にない」という回答は、21.7% でした。

■問 12 鷺沼駅前にあってほしい市民サービスや公共的な機能【複数回答】(n=1057)



● 家族構成別 鷺沼駅前であってほしい市民サービスや公共的な機能

問12の「子どもや子育てへの支援」への回答は、全体では25.3%であったのに対し、就学前の子どものいる人では、62.2%と高い比率となりました。子どもの年齢が高くなるに従い、その比率は下がる傾向にあります。

また、「読書、調べもの、本を借りること」への回答は全体では31.2%ですが、中学生・高校生の子どものいる人では4割前後となっています。

「高齢者や障がい者への福祉サービス」への回答については、全体では34.3%ですが、65才以上の家族と同居している人は46.4%となっています。

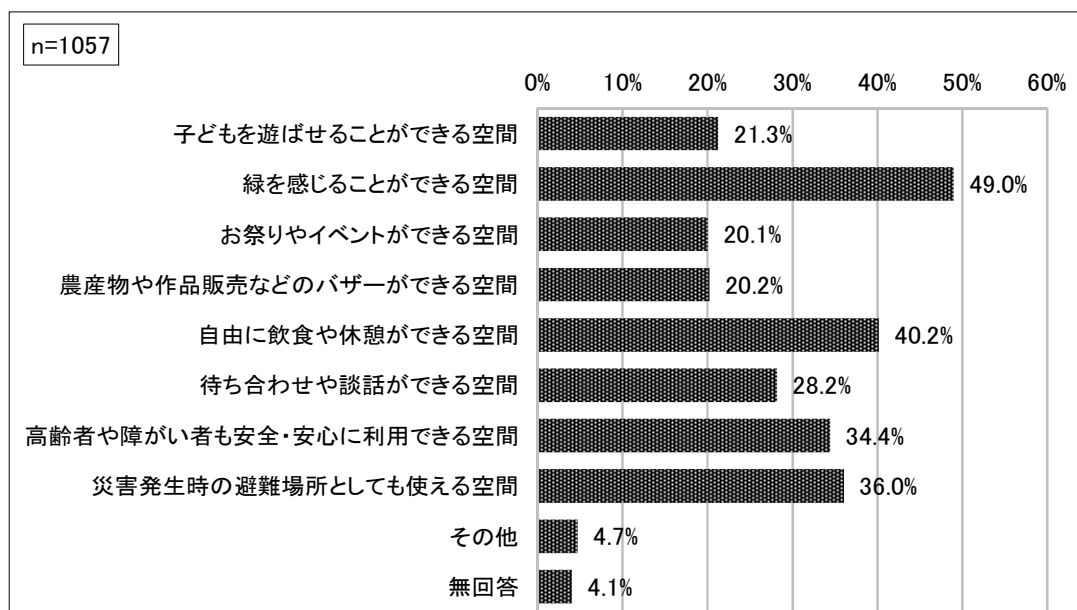
■問12 家族構成別 鷺沼駅前であってほしい市民サービスや公共的な機能【複数回答】(n=1057)

| | | 回答数 | 住民票や印鑑登録証明書などの発行 | 転入・転出や戸籍・印鑑登録などの手続き | 高齢者や障がい者への福祉サービス | 保険、福祉などに関する各種手続き・相談 | 読書、調べもの、本を借りること | 子どもや子育てへの支援 | 音楽などイベント、講座、講演会などの開催・参加 | 多様な世代やライフスタイルの人たちの交流 | 地域の活動やサークル活動への支援 | その他 | 特にない | 無回答 |
|--------|--------------|------|------------------|---------------------|------------------|---------------------|-----------------|-------------|-------------------------|----------------------|------------------|-----|------|------|
| 全体 | | 1057 | 49.4 | 43.7 | 34.3 | 33.9 | 31.2 | 25.3 | 25.3 | 19.6 | 13.3 | 4.3 | 21.7 | 2.4 |
| 子どもの年齢 | 就学前 | 135 | 44.4 | 40.0 | 22.2 | 21.5 | 34.1 | 62.2 | 28.1 | 17.8 | 8.9 | 3.7 | 20.0 | 1.5 |
| | 小学生 | 125 | 41.6 | 36.8 | 21.6 | 28.8 | 32.8 | 40.0 | 26.4 | 16.0 | 10.4 | 6.4 | 31.2 | 0.8 |
| | 中学生 | 54 | 50.0 | 44.4 | 31.5 | 38.9 | 42.6 | 31.5 | 22.2 | 20.4 | 5.6 | 3.7 | 20.4 | 0.0 |
| | 高校生 | 61 | 47.5 | 37.7 | 26.2 | 34.4 | 39.3 | 36.1 | 18.0 | 21.3 | 9.8 | 4.9 | 26.2 | 1.6 |
| | 大学生・専門学校生等 | 85 | 67.1 | 57.6 | 37.6 | 35.3 | 35.3 | 21.2 | 20.0 | 20.0 | 11.8 | 3.5 | 11.8 | 1.2 |
| | この年代の子どもはいない | 150 | 54.0 | 47.3 | 40.7 | 38.7 | 26.0 | 16.7 | 28.0 | 19.3 | 8.7 | 6.0 | 21.3 | 2.0 |
| | 無回答 | 6 | 50.0 | 16.7 | 50.0 | 50.0 | 33.3 | 16.7 | 16.7 | 33.3 | 16.7 | 0.0 | 0.0 | 33.3 |
| 高齢者の有無 | いる | 360 | 47.8 | 40.3 | 46.4 | 37.2 | 20.3 | 15.6 | 24.2 | 19.7 | 17.2 | 4.4 | 21.1 | 3.9 |
| | いない | 563 | 51.2 | 45.8 | 25.4 | 32.0 | 38.0 | 33.0 | 25.8 | 19.9 | 10.7 | 5.2 | 22.4 | 1.4 |
| | 無回答 | 134 | 46.3 | 44.0 | 39.6 | 32.8 | 32.1 | 18.7 | 26.1 | 17.9 | 14.2 | 0.0 | 20.1 | 2.2 |

エ 鷺沼駅前であってほしい空間

鷺沼駅前であってほしい空間で最も多いのは、「緑を感じることができる空間」の49.0%、次いで、「自由に飲食や休憩ができる空間」が40.2%、「災害発生時の避難場所としても使える空間」が36.0%、「高齢者や障がい者も安全・安心に利用できる空間」が34.4%、「待ち合わせや談話ができる空間」が28.2%でした。

■問13 鷺沼駅前であってほしい空間【複数回答】(n=1057)

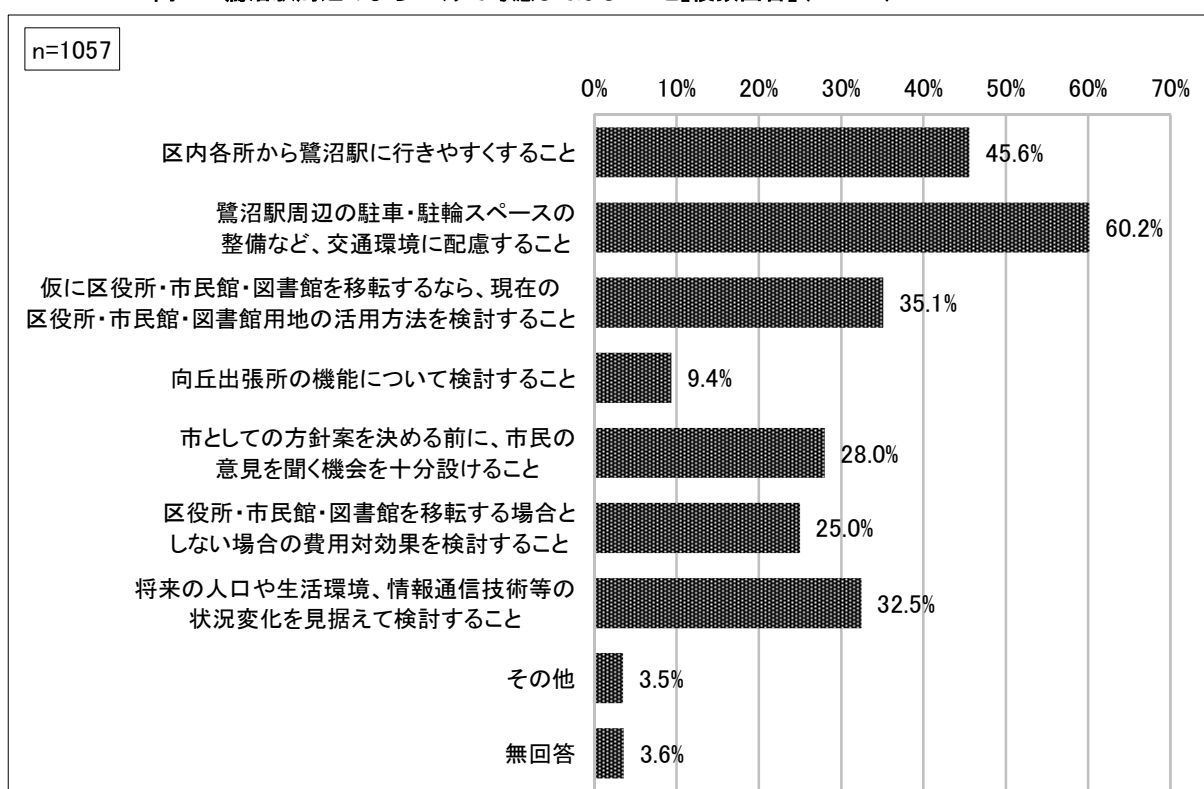


(6) 鷺沼駅周辺のまちづくりで考慮してほしいこと

鷺沼駅周辺のまちづくりで考慮してほしいことで最も多いのは、「鷺沼駅周辺の駐車・駐輪スペースの整備など、交通環境に配慮すること」の60.2%、次いで、「区内各所から鷺沼駅に行きやすくすること」が45.6%と、交通環境や交通アクセスを向上させるような、利便性の良い場所としての整備を求める回答が多くなっています。

また、「仮に区役所・市民館・図書館を移転するなら、現在の区役所・市民館・図書館用地の活用方法を検討すること」が35.1%、「将来の人口や生活環境、情報通信技術等の状況変化を見据えて検討すること」が32.5%となり、仮に移転する場合の現施設用地の有効活用や、人口や社会環境の変化を見据えた整備を求める意見が3割を超えています。

■問 14 鷺沼駅周辺のまちづくりで考慮してほしいこと【複数回答】(n=1057)



鷺沼駅周辺再編整備に伴う宮前区の今後のまちづくりに向けた 区民意識アンケート報告書 概要版

平成 30 年 11 月

発行：川崎市宮前区役所 まちづくり推進部 企画課

〒216-8570 川崎市宮前区宮前平 2-20-5 電話 044-856-3170 FAX 044-856-3119

中間報告まちづくりフォーラム（8月26日（日）開催）での 意見票*に対する市の考え方

*参加者アンケート自由記入欄に記載された意見も含む。

*1枚の意見票に複数の意見が書かれていた場合やアンケートの長文の意見は、必要に応じて分割・要約した。

1. 鷺沼駅周辺に望む公共機能

| No. | 意見の趣旨 | 意見に対する市の考え方 | |
|-----|--|--|--|
| 1 | ・活用できるエリアは限られているため、商業施設、イベントスペース、保育所など人が集まりにぎわいをつくり出せる設備を優先 | <p>・鷺沼駅周辺は、本市総合計画における地域生活拠点の一つとして、駅を中心とした多様なライフスタイルに対応した商業、都市型住宅、文化・交流、子育て支援等の都市機能が調和した市街地形成の誘導を図ることとしています。</p> <p>・区民の皆様からいただいた御意見につきましては、再開発準備組合とも連携しながら、整理・検討してまいります。</p> | |
| 2 | ・再開発では生活に必要な買い物が一通りできるよう商業施設、飲食店、イベントスペース、クリニック、保育所の整備を期待する。 | | |
| 3 | ・小杉やたまプラーザテラスのように立体化して地下や1階に交通広場を設け、その上に商業施設や役所機能、図書館を設けてほしい。 | | |
| 4 | ・民間の商業・サービス機能を融合した様な設えにすべき ・快適で使い勝手の良い施設にして、多くの区民にたくさん利用されることも重要な価値 | | |
| 5 | ・四角い箱ではなく、五感を刺激するような空間構成がほしい。 | | |
| 6 | ・これから毎日会社に出社する必要性が少なくなるが、日中を有意義に生活できる場所に変われるチャンスである。 | | |
| 7 | ・鷺沼駅前にイベント等で利用できる広場をつくって欲しい（5,000人規模以上は集まれるように）。 | | |
| 8 | ・多世代が交流できるイベントスペースがあったらよい。 | | |
| 9 | ・4～5人のグループが打合せをしたり作業するスペースがほしい。 | | |
| 10 | ・市民活動の情報支援・検索コーナー | | |
| 11 | ・公共機能移転を前提として、市民活動のためのスペースをできるだけ広く取ってほしい。 | | |
| 12 | ・今後の宮前区の観光事業にも積極的に取り組んでほしい。 鷺沼駅前に是非観光窓口、インフォメーションセンターの設置を希望 | | <p>・市民活動支援機能や窓口機能など、各種サービス機能のあり方に関する御意見として、今後整理・検討してまいります。</p> |
| 13 | ・新施設は諸手続のワンストップが可能なレベル。 | | |
| 14 | ・特に子育て支援施設、市民が集えるスペース、図書館機能などは最低限設置してほしい（全国地方から選ばれる川崎市宮前区のため）。 | | |
| 15 | ・図書館の移設のとなりあわせに視聴覚情報文化センター分室を。連絡・相乗的なサービス出来ると思う。 | | |

1. 鷺沼駅周辺に望む公共機能

| No. | 意見の趣旨 | 意見に対する市の考え方 |
|-----|---|---|
| 16 | ・私は区役所よりも市民館の方がはるかに利用回数が多いので、移転してほしいと思う。ただ、鷺沼に大きなホールができるほど床面積はあるか。大中ホールと小ホール会議室多目的室とで住み分けで納める方法もある。 | ・市民館機能に関する御意見として、今後整理・検討してまいります。 |
| 17 | ・音響の良い、大ホール、小ホール、リハーサル室の設置 | |
| 18 | ・音楽用（ピアノ常設）の練習室の設置 | |
| 19 | ・図書館は新設してほしい。 | ・市では、財政状況や人口推計を見据えながら、近隣施設との複合化、用途廃止及び民間活用等も含めて建築物の総量を管理する、資産マネジメントの取組を進めています。このような資産保有の最適化の観点等から、図書館につきましても効率的なサービスの提供に向けて、慎重に検討してまいります。 |
| 20 | ・図書館のような施設は駅からすぐ近くだと便利で、区に1つではなく、複数あってもよいと思う。 | |
| 21 | ・図書館なら2つあってもいいと思う。 | |
| 22 | ・図書館は駅そばにあったほうがバス通勤通学の人も帰りに寄れるので利便性は上がる。移転しないで鷺沼に新しく作り現在の図書館はそのまま残すか、菅生の方に移転する案もある。 | |
| 23 | ・広く宮前区民のニーズに応じる為なら、少なくとも図書館や市民館は両方にあっても良いと思われる。 | |
| 24 | ・現区役所・図書館は不便。鷺沼駅へ移転してほしい。 | ・今回の再開発に伴い、鷺沼駅前にどのような公共機能が望まれるかということについて、様々な場面で区民の皆様からいただいた御意見を総合的に整理・検討してまいります。 |
| 25 | ・現宮前区役所はアクセス的に駅からの坂道が厳しく、高齢者、子育て世代だけでなく、一般市民にとっても鷺沼駅へ移転すべきである。 | |
| 26 | ・移転後の区役所及びその他機能の駅前に集結するメリットをもっともっと知りたい。 ・必ず移転すべきと思う。 | |
| 27 | ・区役所、図書館、市民館の移転を希望する。 ・時代のニーズに即した機能（あり方）を検討して欲しい。 | |
| 28 | ・現区役所をそのまま活用し、鷺沼には「機能」をもたす。 | ・区役所機能に関する御意見として、今後整理・検討してまいります。 ・なお、区役所は、移転するとしても一部機能のみでよいのではないかとこの御意見ですが、これからの区役所に求められる役割の中長期的な展望に立ち、今後も機能を切り分けることなく、市民ニーズに応じたきめ細やかな行政サービスを着実に提供していくことが必要だと考えています。 |
| 29 | ・役所の窓口を集約する事は住民サービスの低下ではないか。区役所から遠い住民のためには、出先機関の充実を図るべきではないか。 | |
| 30 | ・地名から鷺沼は危険性が高いので区役所移転はすべきではない。危険性はハザードマップを見ても一目瞭然。出張所機能を設けたらどうか。 | |
| 31 | ・区民アンケートの結果から、区役所へ来る目的は住民票他73.4% 転入出他63.0%⇒現在の向ヶ丘出張所鷺沼でも取得可能⇒少なくとも区役所機能の移転は必要ないのでは。 | |
| 32 | ・区役所全体をさぎ沼へ移動する必然性は何も感じない。区役所は区のどこに置いていても不便を感じる区民はいるので。どうしてもというなら向ヶ丘出張所程度の有する場所で十分。 | |
| 33 | ・さぎぬまは出張所で充分。 | |

1. 鷺沼駅周辺に望む公共機能

| No. | 意見の趣旨 | 意見に対する市の考え方 |
|-----|--|------------------|
| 34 | ・ 鷺沼は一部機能の移転が良い。 | ・ 前ページ「28～33」と同じ |
| 35 | ・ 区の機能は一部機能のみ移転 | |
| 36 | ・ 今、駅のそばに住民票等がとれる行政サービスコーナーがあるので、区役所そのものの移転が必要とは思わなくなった。1か所に集中したいというならなおさらだ。 | |
| 37 | ・ 鷺沼の予定地は狭すぎてバスターミナルも道路も区役所他、いろいろな機能を全て移転するのは物理的に無理で、一部の機能の移転（より増設）がせいっぱいだと思う。 ・ 行政サービスセンターの機能に+αで駅近に設置（今の場所でもいい） | |
| 38 | ・ 区役所等の移転には大いに問題ある。現状維持か、移転するなら一部の移転でよい（災害対策上-道路・地盤等）。 | |
| 39 | ・ 現状の宮前区の公共機能と同等規模が移転後にも必要か。縮小の必要があると思う | |

2. 交通・アクセス

| No. | 意見の趣旨 | 意見に対する市の考え方 |
|-----|---|---|
| 1 | ・宮前区全体を俯瞰して考え、交通ネットワークや人の流動を元に、行政機能配置が区民の全体最適になる様に検討を進めるべき。 | <p>・今回の再開発を契機に、交通広場の再整備によるバスバース数の増加などの交通広場の拡充や、通過交通等に配慮した交通流の改善を図るとともに、既存バス路線の再編や新規路線の設置等を含めた路線バスネットワークの充実に向け、地域需要や地域特性を踏まえつつ、バス事業者と連携し、宮前区全体の発展に資する路線について、検討を進めてまいります。</p> |
| 2 | ・これからの高齢化の進行や、各所での高齢者による自動車事故の増加から、宮前区内でも自動車によるアクセスに依存することなく、誰もが（障害のある方含め）利用しやすい公共交通や乗り降り自由な交通手段が早急に望まれる。 | |
| 3 | ・真のライフライン構想。医療福祉文化、スポーツ、そして都市機能をつなぐ「かわさき地下鉄」の開発⇒さぎぬまを川崎で孤立させない、人々が川崎をおう歌できる施策。 | |
| 4 | ・現在、区役所にバス2本を乗り継ぐ地域があると聞いている。鷺沼に移転して1本になる、バス路線の新設により日平均値として利便性が向上するなら移転可。移転に関して民間の金が使えらるなら前向きに考えてよいと思う。 | |
| 5 | ・急行停車駅の鷺沼駅がもっと便利になればいい。 | |
| 6 | ・駅から予定敷地南端までの高低差をうまく生かし、計画をすすめてもらいたい。安易な地盤レベルの調整には反対。 | <p>・鷺沼駅周辺の交通環境については、現在の利用状況を踏まえ、既存の交通広場を運用しながら整備が可能となる位置であることや、待合スペースなどの交流機能を駅近くに配置することなどに配慮し、計画イメージを検討しています。今後も区民の皆様からいただいた御意見などを参考に、公共交通による駅アクセスや歩行者の利便性、安全性の向上などについて検討してまいります。</p> <p>・街路樹については、頂いたご意見を踏まえつつ、今後の管理者との協議の中で具体的な検討を行ってまいります。</p> |
| 7 | ・右折左折レーンだけでなく降車レーンを作って欲しい。肉のスエヒロ側の信号を長くして欲しい。 | |
| 8 | ・駅前のバス・タクシーと自家用車の分離について。たまプラーザ駅のような方式が良いと考える。現状では自家用車で鷺沼駅への乗り入れはほとんどできない。 | |
| 9 | ・タクシー乗り場が駅改札から遠くなってしまうのは困る。計画が東急主導で進んでいて、お年寄りのマンション建てたりして、駅の近くの土地を有効に使えなさそうなことが原因か？住人が不便になる街づくりをしないでほしい。 | |
| 10 | ・バス・タクシー乗り場は改札近くに（高齢化）タクシー乗り場やバス乗り場に屋根があるといい（溝の口・たまプラーザのように） | |
| 11 | ・駅北側エリアへのネットワークの充実を図って欲しい。新交通広場へはバス・タクシーのみの利用として欲しい（一般車まで入ると、混雑が生じかねない）。 | |
| 12 | ・交通広場の再整備。駅周辺の交通渋滞、混雑の解消。 | |
| 13 | ・交通広場の再整備についてバスバースの設置（増設）、バス路線の充実、コミュニティ交通の導入 | |
| 14 | ・交通・アクセス内容について疑義あり。鷺沼駅の北側入口道路は大量のバスを入れる便利さを確保できないのでは？ | |
| 15 | ・現在のフレルとロータリーの間の道路をなくすことは賛成 | |
| 16 | ・鷺沼のバスロータリーの再開発はどこのものを参考にしていくのか。 | |
| 17 | ・桜を残せるようにうまくできないか。せっかく植えたのに木が育たないうちに伐採か。 | |

2. 交通・アクセス

| No. | 意見の趣旨 | 意見に対する市の考え方 |
|-----|---|--|
| 18 | ・再開発でできる高層マンションによる住宅の増加で、田園都市線のあらゆる混雑が心配である。駅前再開発と合わせて運行上の施策も検討してほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・東急田園都市線の混雑緩和に関する御意見として、神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じて、鉄道事業者である東京急行電鉄株式会社に要望してまいります。 |
| 19 | ・電車の混雑を何とかすることは可能か。 | |
| 20 | 第2の小杉地区にはならないか。通勤時の混雑度はいかなるものか。 | |
| 21 | ・さぎぬまの交通事情の混雑度が増えると思えないか？ | <ul style="list-style-type: none"> ・鷺沼駅周辺では、今後、交通広場の再整備によるバスバース数の増加や右左折レーンの設置など、通過交通等に配慮した交通流の改善に向けた検討を行っていきます。 ・また、鷺沼駅周辺地区を中心とした路線バスネットワークの充実を図り、公共交通機関の利用を促進して、交通混雑の緩和に努めていきます。 |
| 22 | ・駅前再開発されても、交通アクセスの大幅改善は無理。 | |
| 23 | ・交通アクセスの整備状況など詳細不明なので、判断が難しい。混雑が解消できないのでは。 | <ul style="list-style-type: none"> ・駐車・駐輪スペースの確保は、今後、準備組合により検討が進められることとなりますが、「建築物における駐車施設の附置等に関する条例」に基づき、他事例等を参考に、適切な台数の配置を誘導してまいります。 |
| 24 | ・鷺沼駅に移転した場合、市民館での舞台利用とかある場合、自家用車等の利用が多くなると駐車スペースはどうなるのか。今でも車の列が出来ている時があります。 | |
| 25 | ・移転は反対だが、万が一移転したとしても現状同様無料の駐輪場（含み原付）は絶対設けること | |
| 26 | ・バリアフリーについて、駐車場の台数確保すること、障害者当事者の意見を聞いていただきたい。 | |
| 27 | ・区役所の立地条件に、現在と鷺沼案を比較するとどの位の区民にとって便利になるのかを明らかにしてほしい。その際、バス路線の見直しも含めて明らかにしてほしい。 | |
| 28 | ・区内全域から鷺沼駅に1本でアクセスできるバス便（路線の整備）をお願いしたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・鷺沼駅は、宮前地区方面を主とした多くの路線バスの起終点となっています。今回の再編整備にあたっては、鷺沼駅を中心としたさまざまな方面からの路線バスネットワークの充実を図ることが重要であると認識しておりますので、拡充されるバスバース等を活用し、既存路線の再編や新規路線の設置等について、バス事業者と連携し、検討を進めてまいります。 |
| 29 | ・区全体から、まんべんなく鷺沼駅へ来れるバスルートの整備を希望。 | |
| 30 | ・現区役所から鷺沼への交通アクセスは必ずしも良いものではない。移転実現後は現在以上の利便性を確保出来るのか。 | |
| 31 | ・菅生からは市バスで区役所前まで一本で行くことができる（本数は少ないが）。仮に移転した場合もバス一本で行けることが条件！譲れません！交通費が高くなるのはダメ！ | |
| 32 | ・鷺沼駅⇄聖マリアンナ大前⇄（小田急へのアクセス）は可能か。鷺沼⇄聖マリアンナ大前の運行は月あたり何本か。 | |
| 33 | ・バス路線として、鷺沼小、公園方面と駅を結ぶ路線が現状ないので、新設してほしい。 | |
| 34 | ・鷺沼を起点とするアクセスばかりを検討されたら、横断するルートやその他の町は、逆に不便になりはしないか。 | |
| 35 | ・「市営バス・東急バス・コミュニティバス」の総合的活用。東西の電車と南北のバス活用。 | |

2. 交通・アクセス

| No. | 意見の趣旨 | 意見に対する市の考え方 |
|-----|---|---|
| 36 | <p>・鷺沼駅開発も重要と思うが、市民の税金を使う以上団地周辺のコミュニティ交通を市の負担で早急を実現することが先決と思う。高山団地で検討会がやられているが、なかなか進んでいない。早急に対応してほしい。</p> | <p>・本市では、「身近な地域の交通」の基本は路線バスであり、「コミュニティ交通」は、路線バスの活用が難しい場合に地域が主体となって導入する交通手段、として位置づけています。</p> <p>・市では、地域の主体的な運営によるコミュニティ交通の導入に向けた取組に対して、進捗に応じた支援を行い、持続可能な交通環境の整備を推進しています。</p> |
| 37 | <p>・川崎市が運営するコミュニティバスの計画等はあるか？</p> | |
| 38 | <p>・アクセス以前の問題で、団地からバスで行けないという声もある。市民が置いてけぼりになるのはよくない。</p> | |
| 39 | <p>・宮前平駅と宮前区役所のアクセスはもっと早くシャトルバス等つないでほしい。</p> | |
| 40 | <p>・現施設の指摘される坂道対策として、これ迄の30数年間、市は何をやってきたか。</p> <p>・住民の税負担の割に区への配分がいかに少ない。</p> | <p>・これまで、鷺沼駅・宮前平駅・区役所を結ぶシャトルバスの検討や、区役所を拠点としたバスターミナルの検討などを行ってきた経過がありますが、課題も多く、実現しておりません。</p> |
| 41 | <p>・富士見坂通りと宮前平駅のシャトルバスを早く整備してほしい。鷺沼に一点集中すべきでないと思う。</p> | <p>・今回の再開発を契機に、公共交通による駅アクセスの向上について検討してまいります。</p> |
| 42 | <p>・宮前区は道路、鉄道等の整備が特に遅れている。会館等のルート等もほとんどない。</p> | |
| 43 | <p>・道路の状態がたまプラーザ周辺より悪すぎる。改善してほしい。</p> | |

3. 宮前区全体のまちづくり

| No. | 意見の趣旨 | 意見に対する市の考え方 |
|-----|---|---|
| 1 | ・宮前区全体のつりあいのとれた発展を考えて | <p>・鷺沼・宮前平駅周辺地区は、本市総合計画において「地域生活拠点」の一つとして位置づけられており、「鷺沼駅周辺を中心に商業、都市型住宅、文化・交流など多様な都市機能の集積及び交通結節機能の強化に向けた取組を推進」することとしています。</p> <p>・今回の民間事業者による再開発は、この位置付けに即した取組として、交通結節機能としての駅周辺交通環境の改善など、宮前区全体の利便性向上に寄与する効果が期待されます。</p> |
| 2 | ・宮前区の全体のまちづくり構想を示していただきたい。 | |
| 3 | ・宮前区全体の発展が視野として必要。公共機関移転以外で鷺沼再開発は当然進めるべき。 | |
| 4 | ・鷺沼駅前も再開発だけに焦点が集まっているが、もっと宮前区全体の「将来を見据えた」まちづくりを考えるべき。これ以上、不必要な再開発などしないでほしい。数年後「人口減少、超高齢化社会を見越しての再開発なら賛成。区役所 etc「移転ありき」のような議論は、根本から見直すべき！ | |
| 5 | ・駅をどうするか以前に宮前をどんなところにするのかをまず固めていくのが先決ではないか。ビジネス（企業）を誘致するのか、商業重視なのか、観光に注力するのか。それによって、駅の在り方がちがってくる。 | |
| 6 | ・ロータリーの見直しと移転を別にしたほうがいい。憩いの場を増やすよりも、バス・アクセスの検討よりも宮前区全域の活性化を考えた方がいい。 | |
| 7 | ・宮前区全体のまちづくりとして、これからの子供たちやお年寄りのための憩いの場としてのフリースペースや公園の活用を検討して欲しい。 | |
| 8 | <p>・再開発の機を捉えて、移転するのは長期的にみて賢明。少子高齢化もあるし、コンパクトな街づくりとも公共機関の充実は不可欠。</p> <p>・再開発が完成する時期から区役所の現地建替えを検討しても遅い気がする。</p> | <p>・今回は、民間の再開発によって交通利便性が高まり、都市としての機能が向上する鷺沼駅周辺に、公共機能を一体的に移転する可能性も含めて検討する機会であると捉えています。</p> <p>・今後も引き続き、多角的な意見聴取に取り組み、「基本方針（案）」の作成に向けた取組を進めてまいります。</p> |
| 9 | ・公共施設の移転等を考える上で、広大な平地の確保、交通の利便性、地域環境を考慮する必要がある。与えられた契機を活かして考えることも大事と理解する話し合いをしていきたい。 | |
| 10 | <p>・高齢者や人口減少を見据えた生活密着型とし、一日を楽しく過ごせる場所でありながら、更に生活面（共働き時代なので、仕事・子育てを含む）の事も、鷺沼駅周辺にあれば完結するまちとする。</p> <p>・駅周辺の機能の一つとして、現在の区役所・市民館・図書館を移転させることは、宮前区の将来のためにも必須と考察する。</p> | |
| 11 | ・50年に1度のビックチャンス。なにもしないで、宮前区の評価がさがるのは、なんとか止めたい。宮前区のへそを今回のチャンスを生かし作りたい。 | |
| 12 | <p>・宮前区のへそを中心として交通結節点の駅を中心とした行政の集積（利便性）を図り、コミュニケーション能力あふれる、宮前ブランドを作っていく。</p> <p>・その為に民間企業の開発に上乘りして、50年に1度のビックチャンスを生かし、より良い宮前区を目指す。</p> | |
| 13 | ・宮前区は文化施設・会社等が不足している。今回の再整備で、その状態が解消されることを望む。 | |

3. 宮前区全体のまちづくり

| No. | 意見の趣旨 | 意見に対する市の考え方 |
|-----|--|--|
| 14 | ・宮前区は福祉施設か文化施設が他区に比べて少ないと聞いている。遅れた公共施設の機能も是非進めて欲しいと思う。 | ・前ページ「8～13」と同じ |
| 15 | ・ベッドタウンから日中を楽しく過ごせる町へ変えていきたい。 | |
| 16 | ・どの駅にもコーヒーショップがあるが、車いすやベビーカーは、入れない。高齢者も入りにくい。つえを持った人も入りにくい。鷺沼にこれらの人々が問題なく利用できるようなユニバーサルコーヒーショップがあるとよい。 | |
| 17 | ・区役所外にある福祉関連機能（社会福祉協議会etc）、危機管理関連団体等を集約し、効率化を図る。 | |
| 18 | ・現区役所、市民館、図書館はバリアフリーが不十分。床面積など拡張ができない。 | ・資産マネジメントカルテにより、公共建物の目標活用年数は60年以上とされています。また、区役所と支所・出張所等の機能再編実施方針改定版では、目標活用年数を基本としつつ、社会状況の変化や周辺のまちづくり・施設整備の動きを踏まえ、整備方針を立てることとしています。 ・今後、こうした方針との整合性や、鷺沼駅周辺のまちづくりの観点を踏まえ、検討を進めてまいります。 |
| 19 | ・長期にわたる利用のできる施設づくりを進めていきたい。30年すぎて、不満の多い公共施設の反省を踏まえてほしい。 | |
| 20 | ・区役所、市民館、図書館は、線路の反対側からは実際の距離よりももっと距離感がある。どこかの駅にある方がおさまりが良い。 | |
| 21 | ・区役所・出張所・行政サービスコーナーのセットで考えるべき | |
| 22 | ・区役所がどちらの場所になろうと、鷺沼駅前、現区役所の場所の両方で、テレビ電話を利用して同じように届出相談ができるようにしてほしい。最先端のAIを用いなくとも、今ある技術でできるはずです。 | |
| 23 | ・ITの活用によって、どこでも同じサービスが受けられる。区役所機能、福祉や介護、生活支援、一体的に推進する地域の総合行政機能としていくことが必要 | ・区役所の行政サービスにおけるICTの活用については、他都市の取組事例なども参考にしながら、引き続き検討してまいります。 |
| 24 | ・フリーWi-Fiの設置 | ・本市で取り組んでいる「かわさきWi-Fi」は、市役所や区役所をはじめ、災害時の避難所となる小中学校、民間事業者との連携による主要駅や大規模商業施設など、多くの方々が集まる施設を中心に設置しております。今後も民間事業者と連携しながら、取組を進めてまいります。 |
| 25 | ・跡地利用はどうなるのか説明が欲しい。 | ・仮に「区役所等を移転する」とした場合の課題にはなりますが、これまでのフォーラムや意見交換会において同様の御意見・御質問をいただいておりますので、現在の区役所等用地（跡地）のあり方についても並行して意見交換してまいります。 |
| 26 | ・跡地利用ほかについて明確なものがなく、移転が先との説明では、地域に住む住民として不安が生い立つ。 | |
| 27 | ・移転問題と跡地利用は同時並行で議論を進めてほしい。 | |
| 28 | ・公共機関を鷺沼周辺に移転すると仮定して、跡地の効用を落とさず、逆に引き上げる策を期待したい。 ・例えば、総合・救急病院誘致。私学中高・大学の誘致。生涯学習プラザ（中原区老朽化）の誘致など。 | |

3. 宮前区全体のまちづくり

| No. | 意見の趣旨 | 意見に対する市の考え方 | |
|-----|---|-----------------|---|
| 29 | ・現区役所用地の活用が重要なポイント。 ・宮前区の将来の子どもたちのため、川崎、神奈川、日本を代表する横浜翠嵐、湘南レベルのハイグレードの（仮）川崎宮前中学校の新設（中高一貫校）。（資産価値向上） | ・前ページ「25～28」と同じ | |
| 30 | ・文教地区としての今の場所の魅力を落とすことない取組をお願いしたい。 | | |
| 31 | ・鷺沼へ移転させる場合、今の区役所の一部、図書館、区民館内の会議室等は残しておいてほしい。全く「何もなくなる」のは、許されないのではないかと。 | | |
| 32 | ・現区役所用地の活用として、自治会会館や町内会会館や会議室、フリースペースとしての利用が良いと思う。 | | |
| 33 | ・区役所が移転するとしても、会議室・ホールなど交流・活動機能を残してほしい | | |
| 34 | ・区役所用地の活用。SCなど人を呼べるものにして欲しい。 | | |
| 35 | ・区役所が移転することになった場合は、跡地は周辺の住民ニーズに沿った機能（福祉や健康等）に生まれ変わったらいと思う。 | | |
| 36 | ・現区役所の土地は民間にまかせず、市民の手で検討を。 | | |
| 37 | ・仮に移転になった場合、跡地利用については都市計画の開始前にきっちりと認めるようにしてほしい。 | | |
| 38 | ・歩いて行けるとところに市民の集まる場、だれでも出入りできる安全な場がほしい。鷺沼と現在地に何らかの設備が必要である。 | | |
| 39 | ・現在の市民館・図書館を残し、小学生・中学生・お年寄りの居場所を作ってほしい。横浜市は、市内5か所に民間NPOを入れて、子ども（中高生）の居場所づくりをしている。 ・居場所があること、市民活動の場があることは、緩やかな地縁をつくり、疾病予防、自殺、ひきこもりの予防になり、医療費や生活保護費の削減につながる。 ・居場所は歩いて行けるところが良い。 | | |
| 40 | ・区役所は区のあるのが市民全体に便利。皆が宮前平の坂を上ってくる訳ではない。バスを区役所前止まりを多くすれば解決。宮前平の人口は1.5倍に増えている。宮前平も今年1クラス増えた。 | | ・現在の区役所等用地は、昭和57年に高津区から宮前区を分区する際、当時の交通体系の整備構想も考慮して取得した経過があります。 ・宮前区の起伏に富んだ地形等も考慮し、区役所等の位置について検討する必要があると考えています。 |
| 41 | ・鷺沼駅の開発はあってもよいが、区の施設があまり片よるのはよくない。「核」はやはり区の中心部に置くべきだ。 | | |
| 42 | ・移転決定？ありきの様だが、宮前区民（住民）のほぼ中央の現在の場所がなぜ悪いのか。鷺沼は横浜市に近い。単純な疑問である。 | | |
| 43 | ・鷺沼駅周辺再開発に乗って横浜市境に移転する考え方が理解できない。宮前平駅からの坂道が通勤に不便なのだろう。 | | |
| 44 | ・鷺沼は、区内の中心にない。バスを整備しても、小・中学生、お年寄りには、気軽にアクセスできない。 | | |
| | | | |

3. 宮前区全体のまちづくり

| No. | 意見の趣旨 | 意見に対する市の考え方 |
|-----|--|---|
| 45 | ・様々な機能を一所に集めるのはどうかと思う。保健所は移転するのか。 | ・現在の保健所は、区役所の組織として連携した取組を推進していますので、移転の有無についても一体的に検討してまいります。 |
| 46 | ・保健所の移転は、区役所と一緒になくても良いのか？ | |
| 47 | ・一局集積させると、交通・アクセス、宮前区全体のまちづくりにも支障が出る可能性大 | |
| 48 | ・集中化・効率化が最善とはいえない。区内の適切な機能分散も絶対必要。現状での改善・改良に全力をつくすべき。 | |
| 49 | ・鷺沼に集中することで、他の地域の荒廃が進んでしまう。宮前区全体が優しく楽しく住みやすい町でなければ、川崎市政としておかしいと思う。 | |
| 50 | ・商業施設と役所が一緒というのはおかしい。昨年耐震対策もしたことを聞き、老朽化やこわしたりする必要なし。鷺沼駅はエスカレーターが長く危険（エレベーター必要） | |
| 51 | ・昨今耐震建築もした。また2Fのフロアーも整備され、東急の商売の為に壊す必要はない。区役所関連は一か所にあり、宮前平は、人口も1.5倍増え今建築ラッシュ。鷺沼駅は深く下がるエスカレーター等危険、駅前ごちゃごちゃ国・県・市の税金を使うのはやめて！今の建物20年使って、バスを区役所前で止めれば解決。鷺沼では駐車、車・バス、絶対うまくいかない。 | ・今回の民間事業者による再開発は、交通結節機能としての交通環境の改善など、宮前区全体の利便性向上に寄与する効果が期待されます。 |
| 52 | ・福祉関係の手続きには、区役所にはたびたび出向く必要がありますが、鷺沼に移転した場合、必ずしも便利になるとは思われません（駐車場、バス路線の点から）。 | ・こうしたことを踏まえ、都市としての機能が向上する鷺沼駅周辺に、公共機能を一体的に移転する可能性も含めて検討する機会であると捉えています。 |
| 53 | ・全体の人口減少が進む中でも宮前平や鷺沼は、次々にマンションもできており、人口が増えているのではないかと思うが、必ずしも鷺沼にすべてを集約する必要はないのではないか。 | ・今後、意見交換会やまちづくりフォーラムなど様々な場面でいただいた御意見や、基礎調査による比較検討などを総合的に整理・検討し、「基本方針（案）」の作成に向けた取組を進めてまいります。 |
| 54 | ・区役所・市民館・図書館を持つてくる必要は無い（人口減少、IT化の流れを考えるとムダでしかない）。 | |
| 55 | ・現在の立地でOKである。 | |
| 56 | ・公共施設の全移転に反対である。宮前区は市民活動が活発な区だが、その歴史は、現区役所を中心として新住民が宮前区を「ふるさと」とするまちづくり活動を出発点としている。その市民のつながりを無視した全移転は市民活動の発展を阻害する。 | |
| 57 | ・現区役所・図書館等、専用の土地に区庁舎があり大変立派だ。わざわざ貸しビルの一面に移転するなど、発想が田舎そのもので、あり得ない。利益目的の民間東急の再開発に集まるなどあってはならない。現状素晴らしい今後も立派な設備を使っていくべきだ。 | |

3. 宮前区全体のまちづくり

| No. | 意見の趣旨 | 意見に対する市の考え方 |
|-----|---|--|
| 58 | <ul style="list-style-type: none"> ・宮前区役所の宮前平からの移転は反対。宮前平は区役所があつてこそ、発展し良質な住環境が整っている。富士見台小も人気学区だ。 ・区役所があるからこそ、日中人が入り活気があるが、区役所が移転したら宮前平から人が出ていくと思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・前ページ「47～57」と同じ |
| 59 | <ul style="list-style-type: none"> ・区役所機能を切り分けないということであれば、現区役所での活用を考えて頂きたい。現在の場所での区役所機能はダメだったのか。区役所移転には反対である。 | |
| 60 | <ul style="list-style-type: none"> ・鷺沼駅へ区役所を移転した場合の災害支援拠点としての機能をはたせるのか？ | |
| 61 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害大国、日本にとって、民間業者主導による一極集中は好ましくない。現在の立地・消防・警察との一体化は、望ましい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市内で大規模な災害が発生した場合、または発生する恐れがある場合、川崎市災害対策本部（市本部）が設置され、宮前区災害対策本部（区本部）は、市本部を構成する機関として、宮前区役所に設置されます。 |
| 62 | <ul style="list-style-type: none"> ・防災対応／震災発生時の対応は、鷺沼駅拠点は不都合。現地地点のほうが断然よし。消防署、警察署近し。 | <ul style="list-style-type: none"> ・区本部は、災害時において情報収集伝達、医療救護、避難所開設・運営等の応急活動を実施することから、区役所総合庁舎には耐震、不燃化等の総合的な安全対策が必要となります。 |
| 63 | <ul style="list-style-type: none"> ・警察、消防、役所の一体化を望む（非常時は特に）。その為現状を希望する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害対策という観点からの比較検討として、今後、立地場所によるメリット・デメリット等を整理してまいります。 |
| 64 | <ul style="list-style-type: none"> ・震災時の指令・支援機能は複合施設と切り離すことが震災に強い街づくりの一步。 ・震災時は警察・消防との連携が大切で、徒歩で連絡できる関係は最も理想的な位置関係にある。指令・支援機能は現庁舎とすべきである。 | <ul style="list-style-type: none"> ・なお、土橋3丁目の「鷺沼ふれあい広場」の活用についてですが、このスペースは配水施設上部のため、建築物は建てられないこととなっております。 |
| 65 | <ul style="list-style-type: none"> ・防災強化の視点で鷺沼駅周辺整備が考えられないか（ペDESTリアンデッキ）。 | |
| 66 | <ul style="list-style-type: none"> ・30年後の建替えは現区役所ではなく、土橋3丁目の水道局配水場と土橋小の間のスペースを利用することはできないのか？災害拠点としてのスペースも確保できるのでは？ | |
| 67 | <ul style="list-style-type: none"> ・向丘出張所の機能充実・拡張。向丘出張所を地域包括ケアシステムをはじめとする中心地として「向丘地区」の真の拠点とし、プロフェッショナルリーダーを配置してほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・出張所の機能については、「区役所と支所・出張所等の機能再編実施方針改定版（平成30年3月策定）」において、「共に支え合う地域づくりを推進する身近な地域の拠点として、（中略）地域の実情に即した取組を推進」することとしております。 |
| 68 | <ul style="list-style-type: none"> ・向丘出張所の機能強化（地域ケアシステム構築に向けて） | <ul style="list-style-type: none"> ・向丘出張所の機能のあり方につきましては、今回の取組の中でも区民の皆様から様々な御意見をいただいておりますので、改めて意見交換の場を設定するなど、地域の皆様とともに地域ニーズや課題を把握・整理し、機能のあり方について検討してまいります。 |
| 69 | <ul style="list-style-type: none"> ・向丘地区の高齢化への現状への対策を考えると、市の地域包括ケアシステムの推進はさらに重要度を増すと思う。 ・地域密着型の地域包括システムを進める上でも、また向丘地区住民の利便性への配慮という観点からも、向丘出張所を地域ケアシステムの拠点として整備してほしい（出張所から支所への拡充など）。 | |
| 70 | <ul style="list-style-type: none"> ・向丘の市民にも公平な行政を望む。民間チームに追いつく方向性に問題あり。 | |
| 71 | <ul style="list-style-type: none"> ・鷺沼へ区役所を移転した場合、向丘地区は大きな不便・不利益を受けることになる。バス便の増便等にも限界があると思う。 | |

3. 宮前区全体のまちづくり

| No. | 意見の趣旨 | 意見に対する市の考え方 |
|-----|---|--|
| 72 | <ul style="list-style-type: none"> ・現在の区役所用地を含む「宮前平」が、急行も止まらない、坂道ばかり、公共施設は警察と消防だけの「まち」にならないように!! さびれた「まち」にならないように願う。 | |
| 73 | <ul style="list-style-type: none"> ・鷺沼駅以外の他2駅周辺の整備。東西交通の見通し、これらに伴う街路の整備などを推進してもらいたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今回の民間事業者による鷺沼駅前再開発を契機として、宮前区全体の利便性向上が図られるよう、取組を進めてまいります。 |
| 74 | <ul style="list-style-type: none"> ・鷺沼にすべての機能をうつすことをかんがえているのであれば、せめて、宮前平駅または宮崎台駅周辺に図書館の本の返却ボックスを設置をしていただきたい。 | |
| 75 | <ul style="list-style-type: none"> ・今ある行政サービスコーナーのサービス・機能を拡充し、図書の本の返却・受け取り機能を持たせ、これと同一の機能を宮前区内の他の駅（宮崎台、宮前平）の駅前、バス乗換ポイントなど、区内のあちこちに作ってほしい。 | |
| 76 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民が利用できる会館・会議室があまりにも少ない。休日などの利用はなかなかできない。鷺沼駅開発も重要だが、市民が自由に利用できる施設をもっともっと作ってほしい。 | |
| 77 | <ul style="list-style-type: none"> ・これからは、中学校区単位にある地域ケア包括センターが中心になってケアシステムが行われているし、困難事例などは、区の行政とつながるかもしれないが、その当事者が役所に行くことはあまり考えられないのではないかと思う。 | |
| 78 | <ul style="list-style-type: none"> ・ホール、図書館について、いずれも、ちゃちいものになってしまう。区長は、教育委員会からの人なのにあまり考えず軽率な判断をしていると思う。子どもたちの未来に真剣に向き合って下さい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・宮前区全体のまちづくりに関する御意見として、これまでに様々な場面でいただいた御意見と合わせ、総合的に整理、検討し、「基本方針(案)」の作成に向けた取組を進めてまいります。 |
| 79 | <ul style="list-style-type: none"> ・区役所・市民館、本来の役割・中味について、もっとよく考えてほしい。市民参画や包括と市民に頑張らせておきながら市政の利益ばかりで決めてもらいたくない。これからの子どもたちのためにしっかり中味について考えてください。 | |
| 80 | <ul style="list-style-type: none"> ・図書館について、中身の話出ていない | |
| 81 | <ul style="list-style-type: none"> ・素晴らしい宮前市民館大ホールを無くさないでほしい。 ・様々な歴史あるイベントの機能を無くさないでほしい。鷺沼都市開発として、見た目がしゃれたものだけにしないでほしい。 | |
| 82 | <ul style="list-style-type: none"> ・横浜に隣接しているので、図書館などは川崎市民より横浜市民サービスになるだけである。 | |

4. 検討の進め方

| No. | 意見の趣旨 | 意見に対する市の考え方 |
|-----|---|--|
| 1 | ・①バス便や②駅前ロータリーの改善は誰もが期待することだが、③区役所等の移転是非は意見が分かれる。最終的にどうやって決めるのか、少なくとも①②と③は切り離して考えるべきではないか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今回の取組は、区役所・市民館・図書館という区民が利用する施設の移転可能性を含めて検討するため、より多くの区民の参加機会を確保することを重視しており、これまで様々な場面で御意見をいただいているところです。 ・また、現区役所等建物の継続利用と移転の比較について、専門業者への委託による基礎調査を実施するなど、コスト面も含めた検証も進めておりますので、これらの情報を総合的に整理、検討し、区役所等の移転の有無も含めた公共機能のあり方について、「基本方針（案）」に反映してまいります。 |
| 2 | ・何をもちて移転の判断をするかを決めた方がよい。フォーラムの議論も的が絞れる（区民全体の利便性、区役所機能の住み分け、費用） | |
| 3 | ・フォーラムを外部の視点とあるが、偏った一部の意見を住民の総意ととらえないで欲しい。 ・再開発に期待している住民はとても多い。大規模アンケートを含め、偏りない意見抽出を求める。 | |
| 4 | ・反対する方がいるのは当然だが、決める時はきちんと決めてほしい。 | |
| 5 | ・利便性(バス路線含む)、費用、区役所機能の住み分け、メリットデメリット等は市役所で基礎資料を提供してほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・詳細な内容を記載した資料と説明用の資料とを分けて作成するなど、よりわかりやすい説明資料の作成に努めてまいります。 |
| 6 | ・移転案、街づくり案を大きく4つくらいまとめて提示しながら議論できると、メリット・デメリットも見えてより深まった方向性も打ち出せるのではと思う。 | |
| 7 | ・具体的なデータに基づいて、客観的な事実を踏まえた議論もしたい。 | |
| 8 | ・配布資料は丁寧で内容も分かりやすいが、ボリュームが多すぎる。簡略化してほしい。 | |
| 9 | ・60歳以上の参加者ウェイトが高い。 ・20～30代の意見を吸い上げる。もっと身軽に参加できる仕組みが必要だと思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・多様な世代の参加、意見把握は重要なことであると考えておりますので、今後の広報、周知方法などについて工夫してまいります。 ・なお、意見交換会（ワークショップ）参加者の抽選にあたっては、10代から30代を優先当選としたり、40代の枠を拡大したりするなど、参加者の年齢バランス等を考慮して抽選いたしました。 ・また、子どもたちの意見を聞く機会として、平成30年10月9日（火）の「かわさき家庭と地域の日」に、宮前区内の中学生と区長が話し合う「区長と語る会」を開催しました。 |
| 10 | ・高齢者のフォーラム参加が多かったがこれからのことを考えたらもっと若い人を多く参加させたほうが良い（IT知識など高齢者にはない知見がある）。 | |
| 11 | ・20代でもフォーラムなどに参加しやすい環境づくりをお願いしたい。 | |
| 12 | ・フォーラムは時間のある高齢者が多く、子育て世代の声が反映されない。 | |
| 13 | ・第1回フォーラムの報告を見て、高齢者の参加が大半であり、子育て世代の声が反映されるのか、とても不安を覚えた。（加えて身勝手な意見も多く、腹立たしかった） | |
| 14 | ・こういうフォーラムイベントだと高齢の参加者が多くなりがち。20代～30代、女性の意見を吸い上げる仕組みが必要だと思う。 | |
| 15 | ・子どもたちの率直な意見を聞く機会の設定について検討しているということだが、何歳くらいの子どもを考えているか。 | |

4. 検討の進め方

| No. | 意見の趣旨 | 意見に対する市の考え方 |
|-----|---|---|
| 16 | <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ50人の居住地を見ると鷺沼駅近辺の人が約半数を占めており、居住地の偏りが見られる。遠い人の申し込みが少なかったようなので選び方に落ち度はなかったかもしれないが、メンバーに偏りがあると結論に偏りが出ると考えるのが自然。 ・ワークショップで移転の議論をするのは良いが移転の結論を出すのは無理があると思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会（ワークショップ）の参加者については、地域バランスや年齢、性別を考慮して抽選により決定しました。住所地ごとの参加人数は、第1回意見交換会資料として公表済みです。 |
| 17 | <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ50名の居住地が町会で鷺沼駅徒歩圏者が30名程いる。鷺沼×8、有馬×8、土橋×7、小台×3偏向ありと思う。公表願いたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・また、意見交換会には様々な御意見をお持ちの方に御参加いただいています。 |
| 18 | <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップでは反対派が入っていない。鷺沼3、4丁目は男性だけでおかしい。私も参加したかったがおちた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・賛成派や反対派など、単純に二分できるものではなく、ましてや「賛成派ばかり集めている」というような事実はありません。 |
| 19 | <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップは公平なメンバーで行うこと。（区役所移転）賛成派ばかり集めている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会では、参加者全員の方に御発言いただくことや、創造的な議論を促し、意見の共有化、重点化に努めています。単なる質疑応答ではなく、参加者同士の意見交換で検討を深めていく取組として、他にはない側面を持つものとして考えておりますが、移転か否かの結論を出す場ではありませんので、その他の場面でいただいた御意見と合わせて総合的に整理してまいります。 |
| 20 | <ul style="list-style-type: none"> ・区役所移転反対派と賛成派に分けて意見を取るべき。 | |
| 21 | <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトの構成員（賛成派・反対派）の割合 | <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会では、参加者全員の方に御発言いただくことや、創造的な議論を促し、意見の共有化、重点化に努めています。単なる質疑応答ではなく、参加者同士の意見交換で検討を深めていく取組として、他にはない側面を持つものとして考えておりますが、移転か否かの結論を出す場ではありませんので、その他の場面でいただいた御意見と合わせて総合的に整理してまいります。 |
| 22 | <ul style="list-style-type: none"> ・フォーラムと意見交換会のギャップ（意見内容の）がよく分かった。公明・公正な参加者の選定が望まれる。 | |
| 23 | <ul style="list-style-type: none"> ・自治体関連の情報を全員に行き渡らせるのは難しいと思うが、事前に区民全員にアンケートを取るなど（ネットも含めて）バランスよくワークショップやフォーラムの参加者を募ったほうが良かったのではないかと。 | <ul style="list-style-type: none"> ・なお、専門的な検証を要するものにつきましては、外部専門家の知見を活用してまいります。 |
| 24 | <ul style="list-style-type: none"> ・専門家による全体のコンセプトについての検討は必要と思う。駅における公共機能は宮前区をどんな町にするのか。その中で鷺沼の役割も検討する必要がある。 ・区民の意見集約だけでは、総花的なものにしかない。 | |
| 25 | <ul style="list-style-type: none"> ・駅前の開発にあたっては、逆に不便になることもある。来年2月はあまりに急である。時間をかけて市民の意見をしっかり取り入れて検討してほしい。 | |
| 26 | <ul style="list-style-type: none"> ・移転か改修かは慎重に対応すべきと思う。調査資料が少なく、もっともって時間をかけて進めてほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今回の取組は、民間事業者による再開発により鷺沼駅前のバスターミナルが広がるなど、交通結節点としての機能の向上が見込まれることなどから、この機会を捉えて、鷺沼駅前に望まれる公共機能は何か、ということを検討するものです。庁舎の老朽化等を契機とした検討とは異なります。 |
| 27 | <ul style="list-style-type: none"> ・時間をかけて検討を。 | |
| 28 | <ul style="list-style-type: none"> ・余りにも早急な検討では無いか。世田谷区では築50年、H16より調査研究H20年区民意識調査。H20年10月世田谷区役所整備審議会を設置。全10回。28～30年検討中。 | <ul style="list-style-type: none"> ・準備組合が進めている再開発の検討スケジュールに合わせて市としての考えを計画に着実に反映させていくため、平成30年度内の「基本方針」策定を目指した取組を推進しています。 |
| 29 | <ul style="list-style-type: none"> ・民間開発に便乗する事なくもう少し時間をかけて検討することが大事だ | |
| 30 | <ul style="list-style-type: none"> ・さぎ沼に区役所を移転ありきで進んでいるが、今の区役所が使えないわけもないので、その時期がわかったときに時間をもうけて十分検討した上で移るべきである。 | |
| 31 | <ul style="list-style-type: none"> ・検討している様子には拙足感強い。 | |

4. 検討の進め方

| No. | 意見の趣旨 | 意見に対する市の考え方 |
|-----|---|--|
| 32 | ・意見は急ぐ必要なし。街づくりと公共施設との関係をもっと論議するべし | ・前ページ「25～31」と同じ |
| 33 | ・移転に前のめりのような気がする。民間開発に安易に乗らず、宮前区全体のまちづくりを時間をかけて考えてほしい。 | |
| 34 | ・もっと、時間をかけたほうが良い。 | |
| 35 | ・計画を急がず、じっくり検討する。 | |
| 36 | ・宮前区全体のまちづくりについては、3年ぐらいの時間を掛けて、宮前区の総合計画として検討して行くべき。宮前区の総合計画”ガーデン区構想みやまえ”はすでに20年たってしまっている。 | |
| 37 | ・鷺沼駅前再開発とは別に宮前区全体のまちづくりを話し合う場を設けて、じっくりやるべき。宮前区の総合計画づくりを時間かけてやるべき。区役所全面移転はそちらで検討すべき。 | ・今回の取組では、鷺沼駅前再開発を契機として、公共機能の移転可能性を検討しているところです。 ・市といたしましては、再開発によって交通利便性が高まり、都市としての機能が向上する鷺沼駅前に、公共機能を一体的に移転する可能性も含めて検討する機会であると捉えています。 |
| 38 | ・移転することによるメリットが良く理解できない。 | |
| 39 | ・はじめに移転ありきの当局の説明に納得いかない。 | |
| 40 | ・既定変更として鷺沼移転を進めているように見えるし、結果としてもそうなる可能性が高いようだ。 | |
| 41 | ・移転する「理由」が市民合意を得ていないことが心配。 | |
| 42 | ・鷺沼駅再編整備において、行政側の話は全て移転を考えているように聞こえた。いろいろ市民が意見を出してももう骨子は決まっているように思った。 | |
| 43 | ・本日の説明を聞いても「移転有りき」と思われる。 | |
| 44 | ・区役所移転ありきで作業が進んでいるように感じる。 | |
| 45 | ・庁舎の移転に反対である。市の説明では、鷺沼駅周辺への移転ありきで進めている感がする。 | |
| 46 | ・意見を多数聞いて必要な機能を駅前に用意してほしい。 | |
| 47 | ・事業者、利用者の立場からどうしてもゆずれない問題を出し、建設的な計画を出し、実行に向けてほしい。 | ・今後もフォーラムの運営等について工夫し、多角的な意見聴取を実施しながら、「基本方針（案）」の作成に向けた取組を進めてまいります。 ・なお、フォーラムの資料については、開催予定日より前に公表できるように努めてまいります。 |
| 48 | ・平場で合意を得るのは、難しいだろう。根回しが必要だろう。理解の度合いが低い人が勝手な意見を言い合うならやる必要がない。このプロジェクトが宮前区全体の区民の利便性に資するとの市の姿勢をはっきり伝えなければ、同じ繰り返しとなる。 | |
| 49 | ・参加者の意見は、予め用意して持参するよう促すべきだ。 | |
| 50 | ・声の大きな発信者のコントロールは難しいが、工夫の余地はあると思う。 ・主催者（職員・コンサル）は座っていただいて結構。最後に市議の発言はダメだと思う。（議員は議会で発言機会あり。） | |

4. 検討の進め方

| No. | 意見の趣旨 | 意見に対する市の考え方 |
|-----|--|--|
| 51 | ・今回6テーマで設定されたが、各テーマごとに分かれた分科会によるフォーラムにしてはどうか。 | <p data-bbox="970 622 1310 654">・前ページ「46～50」と同じ</p> |
| 52 | ・ファシリテータはコンサルとか区役所の職員以外が担当すべき。 | |
| 53 | ・このフォーラムの意見の交換の仕方もおかしい。 | |
| 54 | ・あれだけのボリュームのある資料を当日渡されて質問ができるかと判断したのは誰か。次回も同じ方式で行った場合は、進行上非常に問題である。少なくとも2週間前には23万人の区民に情報提供する努力を行うべきである。 | |
| 55 | ・事前に資料配布されていれば、限られた時間内で討論できる。 | |
| 56 | ・自由に意見交換・議論のできる場を作ると良い。たとえば、毎週〇曜〇時～〇時までこのプロジェクトについて集会をする。（市の担当者はオブザーバーとして1人いるだけでよい） | |
| 57 | ・向丘地区連合自治会から議会に出された陳情が不採択となった（8月23日）。議員の意見として、区民の意見統一が必要であり、宮前区役所の調整が必要とあった。 | |
| 58 | ・事前PR. HPでの告知が非常にわかりづらい。 | <p data-bbox="970 1216 1422 1440"> ・意見交換会やフォーラムで出された意見はすべて市ホームページで公開しています。今後もわかりやすく公開するよう努めてまいります。 ・様々な場面でいただいた御意見につきましては、個々の結果だけではなく、総合的に整理、検討し、「基本方針（案）」に反映していきます。 </p> |
| 59 | ・区民は7月になっても何も知らされていない。 | |
| 60 | ・今日出された意見（集約したものでOK）を是非公表してほしい。 | |
| 61 | ・参加者アンケートの質問も含めて、フォーラムで提出された質問について、個人情報を除いてすべて公開すべきである。ホームページでの公開がベストである。 | |
| 62 | <p data-bbox="220 1361 943 1440">・フォーラム自体が外部の視点による検討そのものということだが、それではその意見をすべて公表してほしい。</p> <p data-bbox="220 1451 943 1473">・その意見をどのように「基本方針」に繋げていくのか。</p> | |
| 63 | ・宮前区役所の移転については、宮前区全体の住民に告知し、意見を聞き、合意の上で慎重に進めるべきだ。移転ありきの市の姿勢がみえみえで後にこれでは非難をあびるだろう | |

5. 区民アンケート

| No. | 意見の趣旨 | 意見に対する市の考え方 |
|-----|--|---|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・区民アンケート（6月）は市民の1%、意見交換会は50人×2回と形式的であり、区民の意見を反映していない。形式にすぎない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・区民意識アンケートは、住民基本台帳から機械的に無作為抽出した2,000人を対象として実施しました。 ・有効回収数は1,057件ですが、統計的には一定の確かな結果が得られる回収率です。 ・現在、11月のフォーラムに向けて、アンケート結果の分析を進めています。 |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果から見て、サンプリングが公平にされているとは思えない。 | |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査結果が配布数の50%余りでしかないことに対して、アンケートの配布方法・疑問を感じる。もう少し、有効な意見収集の方法を考えて頂きたい。 | |
| 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・区民アンケートに沿って区民要望に沿った街づくりをお願いしたい。 | |
| 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・区民意識アンケートの年齢層が知りたい。 | |

6. 基礎調査

| No. | 意見の趣旨 | 意見に対する市の考え方 |
|-----|---|--|
| 1 | <p>・既存建物調査の健全度調査におけるC判定だが、通常この程度のものなのか。定期的に修繕していればBくらいになったのでは。</p> | <p>・本市では、多くの施設で事後保全(劣化・故障が明らかになってから修繕等を行うこと)による対応がされており、宮前区役所等も同様です。事後保全では、結果として施設の老朽化を早め、寿命を縮める可能性もあることから、「施設の長寿命化」を図るため、現在は、予防保全(計画的に適切な保全を行うことにより機能停止などを未然に防ぐこと)の取組を進めているところです。</p> |
| 2 | <p>・現行の区役所、市民館・図書館の健全度評価はC、Dで「広範囲に劣化」又は「早急に対応する必要がある」となっている。新しい移転先が決まるまで何年もかかり、その間の危険度に対する経費と対策はどうするのか。急を要する対策もあると思う。</p> | <p>・この健全度は、建物を長寿命化していく上での評価であり、Dランクであっても必ずしも「危険」ということではありません。「緊急に対応が必要」とされた市民館・図書館の詳細部位についても、すぐに危険な状況ではありませんが、今後適切に対応してまいります。</p> |
| 3 | <p>・現位置で建替える場合と鷺沼移転を比較した表のaとbの記述が公平でない。Ex. 周辺土地利用 aにも商業施設、金融機関はある。Bに道路整備など周辺整備費含めるべきである。</p> | <p>・今後の資料作成にあたり、記載内容について確認し、必要に応じて修正いたします。</p> |
| 4 | <p>・立地条件の「地形、災害想定」について、鷺沼駅周辺は、土砂災害警戒区域に入っている。大きな問題である！</p> | <p>・災害対策という観点からの比較検討につきましては、今後、立地場所によるメリット・デメリット等を整理してまいります。</p> |
| 5 | <p>・防災・震災対応の観点がすっぽり抜け落ちている。</p> | |
| 6 | <p>・想定整備費について、参考にした他事例、項目別の費用内容を知りたい。</p> | |
| 7 | <p>・現位置で建替える場合の整備費110億～120億、鷺沼新設125億～135億。計画検討中の状況で、どの程度具体的な数字なのか。</p> | <p>・想定整備費については、現時点で決定している計画等はないため、区役所、市民館・図書館とも現施設と同面積の整備を想定し、最近の本市実績やホールのある他都市施設などの類似事例を基に、基礎調査を委託している専門業者の知見を活かして算出したものです。</p> |
| 8 | <p>・鷺沼駅前に移転するとした場合、他都市の事例から、125億円から135億円の経費がかかると公表したが、これはどのような構造、面積、内装等により算出したのか。</p> | <p>＜現地建替え：整備費／参考事例＞ →区役所：40～45億円程度／幸区役所 →市民館・図書館：55～60億円程度／柏崎市文化会館、鹿角市文化の杜交流館、秩父宮記念市民会館等</p> |
| 9 | <p>・参考にした具体的な都市の名称及び該当施設を教えてください。</p> | <p>＜鷺沼移転：整備費／参考事例＞ →区役所：75～80億円／小杉駅周辺再開発（取得費）、幸区役所（内装工事費） →市民館・図書館：50～55億円／中原図書館（補助金として20～25億円を見込む）</p> |
| 10 | <p>・川崎駅西口のミュージアムは、250億円を支払っていると思うが、それと比較してどのような仕様の市民館を想定しているのか。</p> | <p>・なお、鷺沼移転とした場合に現時点で想定できる付帯・関連工事はありません。</p> |
| 11 | <p>・市民館ホールの空間構造から、その上部に事務所スペースの階などを設置することは、構造強度の点からかなり問題があると思うが、最上階への設置を想定しているのか、どの階を想定しているのか。</p> | |
| 12 | <p>・鷺沼移転とした場合、区役所等の本体工事以外の付帯工事や関連工事の費用を教えてください。</p> | |
| 13 | <p>・15億の違いは大きいと思う。</p> | |

6. 基礎調査

| No. | 意見の趣旨 | 意見に対する市の考え方 |
|-----|--|---|
| 14 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 想定整備費が、今後の条件次第で変更されるとあるが、どのような条件の場合に変更されるのか。 ・ その場合の増額金額はどの程度が予想されるのか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 想定整備費については、整備面積や参考にする事例、移転・整備時期など、前提とする条件設定により変動します。変動額の幅は想定しておりません。 ・ コスト比較につきましては、想定整備費だけではなく、現施設の仮修繕計画に基づく修繕費、及び新施設の想定修繕費をあわせてお示ししていく必要があると考えておりますので、11月に開催予定の第2回まちづくりフォーラムに向けて、引き続き検討・作業を進めてまいります。 |
| 15 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 想定金額が増額された場合、その増額に対する責任は市長がとるのか局長か、課長か、係長か。 | |
| 16 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 移転する場合と建替（補修）する場合の費用の比較を早い時期に出してほしい。それぞれ何通りかあると思う。 | |
| 17 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 整備費（イニシャルコスト）のみの比較ではなく、50年、100年のライフサイクルコストで比較を行うべきと考える。 | |
| 18 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 鷺沼駅前に区役所を置く場合の経済的メリットは？土地と等価変換するのか？また、区役所は移転せず市民館と図書館のみを移転し、将来的に区役所は市民館と図書館の跡地に建替える、というコスト計算、メリット・デメリット等を比較しているか？そういうシミュレーションをしているか？ | |
| 19 | <ul style="list-style-type: none"> ・ バリアフリーについては、何回もバリアフリーの願いをしたにもかかわらず、対策をやっていないとの意見だった。 ・ 建て直しをした場合でもバリアフリーに課題があるとは何か。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目の記述は、現在の建物にバリアフリー上の課題があることを記載したものです。しかしながら、建替える前の建物のことなのか、建替える後のことなのかのわかりにくくなっていますので、誤解のない表現に修正いたします。 ・ なお、追加工事でのバリアフリー対応には、限界があるものと考えております。 |
| 20 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「長寿命化し、現地で建替える場合（現位置）」のバリアフリーについて、「敷地に高低差があり、バリアフリー対応に課題がある」としているが、建替える場合でも完全バリアフリー設計ができない理由を教えてください。 | |
| 21 | <ul style="list-style-type: none"> ・ バリアフリー機能に劣るとしても、いくら追加工事をしたところで何億もの費用はかからず、改善することはできるのではないか。 | |

7. その他

| No. | 意見の趣旨 | 意見に対する市の考え方 |
|-----|---|---|
| 1 | ・移転に関する基本的な考え方、まちづくり（ビジョン）を再度明確にしてほしい。 | <p>・鷺沼・宮前平駅周辺地区は、本市総合計画において「地域生活拠点」の一つとして位置づけられており、「鷺沼駅周辺を中心に商業、都市型住宅、文化・交流など多様な都市機能の集積及び交通結節機能の強化に向けた取組を推進」することとしています。</p> <p>・市としては、再開発によって交通利便性が高まり、都市としての機能が向上する鷺沼駅前に、公共機能を一体的に移転する可能性も含めて検討する機会であると捉えています。</p> <p>・また、「ガーデン区構想」とは、平成6年から9年にかけて、区民参加で検討された「区づくりプラン」の中で、「宮前区の将来像」として示された考え方です。「区づくりプラン」の策定は、宮前区における区民参加のまちづくりの原点ともいうべき取組でした。</p> <p>・なお、意見交換会やフォーラムで出された意見は、準備組合関係者に随時情報提供しています。今後も連携しながら取組を推進してまいります。</p> |
| 2 | ・再開発の全体像を示すことが必要。高層マンションはやめてほしい。 | |
| 3 | ・民間再開発部分の新しい都市・産業機能・人口増・交通アクセス増の見込みが不明なため、イメージがつかみにくい。 | |
| 4 | ・バリアフリー・高齢者にやさしいまちづくりの整備イメージは何か。 | |
| 5 | ・サギヌマ再開発は賛成だが、たまプラとの競合でどうなるか。 | |
| 6 | ・渋谷、たまプラーザ、武蔵小杉で再開発が進んでいるが、鷺沼はどのような用途（事業形態）（オフィスビル）（ホテル）か？ | |
| 7 | ・郵便局・銀行ATMを駅近に。高齢者マンションは不要。その場所が商業施設や交通広場より近くにあるのはおかしい。東急が集金のためにほしいだけだと思う。 | |
| 8 | ・ガーデン区構想とは何？イメージ図は？ | |
| 9 | ・鷺沼再開発の総事業費は幾らかかるのか？国や県からの補助金はあるのか？同再開発で想定される川崎市の財政負担は幾らくらいか？ | <p>・再開発事業の事業計画は、準備組合により検討が進められることとなります。なお、市街地再開発事業の場合、一般的に、国の要綱等に基づき、補助対象事業費のうち、国1/3、県1/6、市1/6の負担割合となりますが具体的な補助金については、今後検討することとなります。</p> |
| 10 | ・移転（建設も含む）のコスト負担は誰がどのようにするのか。 | <p>・移転に伴う経費は、国の補助金を充当する部分を除いて、本市が負担することとなります。</p> |
| 11 | ・公共施設も含め早く実現して欲しい。オリンピック後の建設コストが上がる可能性があり、職方の不足も十分考えられる。 | <p>・準備組合では、平成31年度都市計画決定、平成33年度工事着手を目指して、事業計画の検討が進められています。</p> |
| 12 | ・早急な建設プロジェクトの実現を望む。 | <p>・市では、この計画検討スケジュールに合わせて市としての考えを着実に反映できるよう、必要な取組を進めてまいります。</p> |
| 13 | ・鷺沼の開発は、放っておいても東急が開発するので、商業の街として進める。130億は、現地に活かしたほうがいいのでは。移転をすると、現地に使えるお金が少なくなる。 | |
| 14 | <p>・中間報告フォーラムで、鷺沼駅周辺及び久末鷺沼線の道路が土砂災害警戒区域に指定されているという意見が出たが、その区域で土砂災害が発生し、区役所等に向かった人々の人身等に損害を与えた場合、間違いなく責任を問われる。その責任者は誰になるのか。明確に答えてほしい。</p> <p>・億単位の損害賠償額となることが予想され、故意または重過失があった場合には関係公務員に対し求償権を有すると規定されている。それでも鷺沼移転を強行するのか。</p> | <p>・区役所等に通じる道路等が土砂災害警戒区域に指定されていても、直ちに国家賠償法に基づく損害賠償責任が発生するものではありませんが、災害対策に関する検討は重要なことであると認識しておりますので、今後の取組の中で、諸条件等を精査してまいります。</p> |

7. その他

| No. | 意見の趣旨 | 意見に対する市の考え方 |
|-----|--|--|
| 15 | <p>・これだけの人数集めての議事運営は大変かと思うが、引き続きねばり強く頑張してほしい。</p> | <p>・今回の取組は、区役所・市民館・図書館という区民が利用する施設の移転可能性を含めて検討するため、より多くの区民の参加機会を確保することを重視しており、これまで様々な場面で御意見をいただいているところです。</p> <p>・今後も引き続き、多角的な意見聴取に取り組み、「基本方針(案)」の作成に向けた取組を進めてまいります。</p> |
| 16 | <p>・市民文化局の方は、とても積極的に問題をとらえていると思った。今直接区民とかかわっている職員の方も出席して今後のまちづくりを協働、共通理解する姿勢をみせてほしい。</p> | |
| 17 | <p>・自己主張が強すぎる参加者がいる中で、様々な参加者や、職員に配慮した司会進行役の職員への対処は素晴らしかった。このプロジェクトにもっと積極的に関わっていきたいと思える契機になった。</p> | |
| 18 | <p>・実質的な宮前区のまちづくり討論になっていた。なかなか、区民の意見を聞く機会はないはず、チャンス、職員にとって。2回目ともなり、よくやっていたと思う。この経験は市職員として必ず役に立つはず！</p> | |
| 19 | <p>・区役所と各自治会とのパイプをもっと太くすべき。「宮前区全体まちづくり」というテーマで発言してほしい。単に各自治会のエゴが目立った。</p> | |
| 20 | <p>・鷺沼駅前で市議会議員から1月末アンケートの結果報告という紙を手渡され、まだ区民と検討中なのにと怒りを覚えた。</p> | |
| 21 | <p>・消防署、警察署の施設は古く、暗い。バリアフリー化し、明るい施設にしてほしい。</p> | <p>・今回の取組は、民間事業者による再開発により鷺沼駅前の都市としての機能の向上が見込まれることなどから、この機会を捉えて、鷺沼駅前に望まれる公共機能は何か、ということを検討するものです。御意見については、今後の参考とさせていただきます。</p> |
| 22 | <p>・首都圏外かく放水路みたいなため池や用水路を作ってほしい。宮前平1丁目に作ってほしい。</p> | |
| 23 | <p>・区内に残る農地（主に生産緑地）について、川崎市は、今後の展望はあるのか</p> | |